京城日報

列車時間表

權威ある學生雜誌 十一月號 東京麹町富士見町 研究社 振替東京二八六〇一

中學生

汎中等學生界の寵兒!!

受驗 商業校を出る諸君は 「受驗と學生」主筆

平安奇話 葉二つの笛 / 小曲 熱球 / 秘密小說 瞬かぬ目

內地天文 南極附近の星 野尻抱影 / 舞踊奇話 アンコール / 秋風紀行 鞦韆子から吐月峯

冒險 喰人島の映畫會 (人骨堆積の喰人部落で催した冒險的映畫會の喜劇實話)

印度の白刄魔術 (身の毛も慄立つ印度魔術の初めて曝露された秘密を紹介)

實話 山賊と地藏菩薩 (大寺へ亂入した山賊團を迎へて活躍したる豪僧!) 青木茂

奥山の天狗囃子 佐々木喜善

關西の學生諸君へ 服部

▼野球 一高對三高 ▼受驗と修學 ▼世間 節約十九ヶ條 ▼諸國 百校一笑 ▼滑稽 豪傑青面獸 ▼別册 漫畫漢文讀本 ▼漫畫 學生百馬鹿 ▼漫畫 中等學校巡り

定價一册金三十五錢 送料一錢五厘 一ケ年十二冊 特別號共 金四圓五十錢

秋姫の裝ひ・・十一月の女學生!!!

女學生

□文藝小說 若き反逆者の歌 (丘に白金の十字架を埋むる二少女) 白石實三

□花の傳說 おばまん菊 (京の田舍の美しい花賣娘は菊になつた) 小野勝也

▼秋の幻(詩) 八十 ▼箱根行(歌) 雅子 ▼火桶(詩) 富香 ▼秋の姿(詩) 柳虹 ▼妹へ(唄) 夢二 ▼得意競(漫畫) 豹 ▼漫畫家(漫畫) 色笑

□怖い實話 午前二時 (階段の手摺に殘つた四本指の手は?) 河井翔子

□實話小說 海邊の足跡 (深夜の海邊に足跡を探す若き女の行方は!!) 加藤まさを

◎少女喜劇 コスモス刈り (生きた女學生生活の諷刺喜劇!)

◎樂劇 蜘蛛 (神話のギリシヤの、ミネルヴアとアラキニの技競べ) 小林愛雄

◎悲歌劇 鷄娘 (馴れぬ勤めの水百荷、柴刈、恋草と苦しみ) 岡田六樹

◎童劇 廻る月日 (四季十二箇月を象徵的な童話劇) 香取

◇詩話 まあちゃん 敬夫 ◇童話 片葉の葦 朝彥 ◇消息 寮の妹へ 珠子 ◇小說 だんだん畑 末央 ◇論說 花がたみ 初山滋 ◇表紙 小春の日 角田次郎 ◇口繪 櫨もみぢ 鈴木淳 ◇私の好きな樂器 皆さん

定價 二册 金卅五錢 送料一錢五厘 一ケ年十二冊 特別號共 金四圓五十錢

大好評 ポケツト 自修漢文讀本

歡聲湧くが如き現行漢文讀本のポケット用自修參考書!!驚喜こ讃辭こを併せ得つゝある純和綴り袖珍漢文讀本!!本書出でゝ漢文學習の困難全く半減せられたり

時代が日に日に複雜なる漢文より遠ざかりつゝあることは事實である。然し漢文は、ラテン語が文字通りの「死語」に瀕しつゝあるとは異なつて、上下三千載の東洋思想、やがては吾等の傳統精神の具體化である。讀者は茲に於て叫ぶ「漢文を更に民衆化せよ!」と。即ちこれに無益の努力を用ひずして、一擧にその成果を收むるの意味である。研究社の「ポケツト自修漢文讀本」九卷は茲に出現の理由を有する。漢文を豫習し、或は復習せんとする人々の爲、現行の漢文讀本の各課其他を悉く萃めて、本文に句讀、訓點を附し、更に讀方と摘解を掲げ、特に難解の文には通解を施してある。各卷末の作家略傳、書籍解題と索引も用意極めて周到である。全九册、袖珍用、紺布表紙、和綴りの裝釘は、純漢文趣の讀家をも嘆賞たらしむべき高雅なる東洋趣味である。

第一讀本程度一册、第二讀本程度上下二冊、第三讀本程度上下二冊、第四讀本程度上下二冊、第五讀本程度上下二冊合計九册

下卷新刊全部完成 ◎袖珍ポケット入新モスリン紺色表裝製本純和綴り ◎定價各册金五拾錢 送料各二錢

發行 東京麹町富士見町六丁目 振替東京二八六〇一 研究社

婦人界

內容一新

▼物價問題と家庭 (物價と家庭との關係を闡明し婦人の覺醒を促す) 法學博士 河津暹

▼婦人勞働問題の現實主義と理想 山川菊栄

▼藝術とは何ぞや 生田長江

▼エレンケエ女史の言葉 平林初之輔

▼女流畫家の特異性 島崎藤村 森口多里

▼オドリの踊 山田耕作

▼現代の宗教的傾向の批判 江原小彌太 ▼病弱な宗教文藝 武田豐四郎

創作欄

長篇小說 生命の灯 / 長篇小說 明るい時 / 短篇小說 夜道 / 詩 垣にそひて / 童話 幸福の鉄 / 名作 燃ゆる

現代社會相

讀者の頁

家庭の知識

定價四十錢 送料二錢 半年前金二圓五十錢 全國各地の書店雜誌店に有り 東京市京橋區鍛冶町一 振替東京四九〇〇番 東京社

少女畫報

十一月號

▼個性の發揮 市川源三 ▼銀座の秋 ▼エチのお話 ▼アリス・テリー ▼面白い遊戲 ▼シユーマン ▼白い月 ▼龍膽の花 ▼君と別れて ▼『一とり落した帽子を拾つた少女に』

寫眞小說 死の舞踏

▲感想 スケッチ帖より 下田惟直 ▲少女小說 赤帽の娘 三宅やす子 ▲童話 白い鳩 松原至大 ▲散文詩 文殼を燒いて ▲少女詩 かたより 竹久夢二 ▲詩 夢 下田惟直 ▲詩日記 (おそくなつたわけ) 水谷まさる

東京府立第二高等女學校評判記

定價五十錢 東京市京橋區鍛冶町一 振替東京四九〇〇番 東京社

出版案內

文官試驗 中等教員 試驗問題集

イロハ字典付 鮮語自在

受驗用 朝鮮語會話

中等學校入學準備 補習算術

入學試驗

京城本町 大阪屋號書店出版部

家庭雜誌

結婚の實驗 (十一月號)

現時の結婚で改善すべき諸點 東郷昌武 (徒らに虛榮虛禮に流れ過ぎて最も結婚の眞意義に注意せざる世間に對する警告大論文)

結婚準備としての性教育の實施法 宮田修 (性教育の忽にすべからざるを漸く了解した現代の社會は、却つて早急にこれを行はんとして子女を誤るの多きを見て、宮田氏が其の親選に迷らんとする必讀の注意!)

婚姻の迷信は人格結合の敵 三輪田元道 (結婚は人格の結合でなければならない。それを拒むものは何ぞ、曰く迷信!此一文を讀んで婚姻に關する迷信の如何に根據なく信ずるに足らぬものかを知り給へ。)

森鷗外博士の臨終に侍する記 伊藤久子 (文豪鷗外博士の病牀に侍して、終にその臨終まで看護の務を盡せし筆者が、親しく見聞せし一代の文豪の死に就いて語る。世に知られざる本篇は當時の實記。)

結婚に關する樣々の實驗 (六項)

▼姑は何故嫁に辛く當るか ▼夫婦間に多く起る訴訟は何か ▼珍田伯令嗣の結婚物語 ▼嫁姑の別居は生活を向上さす

長篇小說 熱風 / 長篇小說 日蔭の女王 上司小劍 / 長篇小說 罪の帳 / 滑稽諷刺電話物語 井田絃聲

○夫婦の相性はあるか ○千面師から結婚の人へ ○千四百萬圓の嫁入仕度 ○媒介所を利用する人の仕方 ○美味な澤庵の漬け方

四十錢 博文館

內科 小兒科 高木醫院

工學講習錄

電氣科・機械科・土木科・建築科及本科 一ケ年卒業 隨時入學許可 見本進呈 東京神田三崎町

新女性

十一月號 榮養文化

榮養の根本義と婦人美 醫學博士 佐伯矩

榮養實務の第一線に立つ女性

國民の實際生活と榮養 榮養研究所 佐伯博士

體內に攝取した食餌は何うなるか

榮養料理八日間獻立 榮養研究所

赤裸に解放された處女の肉體美 帝展審査員 石川確治

優秀なる肉體美の所有者 醫學博士 永井潜

妙齡の婦人と老婆の肉體 中村不折

醜の中にも美學上の美がある 藤井浩祐

五官感覺と男女性的相違 高橋學士

豐滿なる肉體美と脂肪關係 伊藤醫師

戀か誘拐か富豪令嬢と青年 事實談

放縱な少女時代を送りて現實の苦痛に泣く

平和博出品審査後の所感 大藏技師 鹿又親

實質的に生活の向上を期する主婦の心 主幹 瀧澤素水

女子の思春前期 醫學博士 大石貞夫

處女の子宮病 醫學博士 笠原道夫

青春期の榮養 醫學士 佐久間兼信

妊娠より分娩まで 醫學博士

季節物應用の料理 / 主人の喜ぶ酒の肴 / 罐詰を應用した料理 / 不意の來客の料理 / 化粧美と食物關係 / 秋の化粧と毛髮手入 / 家庭で出來る女兒服 / 簡單な割烹着作り方

小說 河畔の悲劇 / 小說 母と子 / 女性漫畫

一冊 四拾五錢 東京麹町有樂町 振替東京八六八七 新女性社

現代語譯 支那哲學叢書

是正に東方民族の生める思想の一大精華

―全十二卷支那哲學の全部に味達せしむ―

浩大なる思想深刻なる哲理、三千年の日月を貫きて大地に燦然たる光芒を放つものを求め得べくんば、是れ正に支那哲學である。支那哲學は實に東方民族の生める思想の一大精華であり、全人類靈的文化の一大胎源であり、更に人類の思想行爲を導き來れる一大恒星である。見よ現代に紛々擾々たる幾多の思想にして、凡そ其根源を支那哲學に求め得られざるものがあらう歟。

更に我日本民族の歷史を顧るに、其思想一として之れが支配を受けざるなく、其文化一として之れに基根を求めざるなく、顯然たる日本文明の華と我が傳統の一切は彼を究明する事に依て、甫めて其の眞に觸れ得るのである。即ち支那哲學の研究は、我國民の傳統的眞生命を甦生せしめ、より高遠なる文化と福祉とを齎す所以である。然るに方今此の典籍の忘却遺棄さるる事甚しく、僅に踏襲的訓詁註解を以て足れりとし何等進展せる現代の思想に觸れず。此れを現代のものたらしむるには、新しき現代の思潮を以て觀察し新しき現代の思想を以て譯出する事により、初めて現代に偉大なる價値を有するに至るのである。此れ我社が難中の難事たるをも顧みず本叢書を刊行せる所以である。

本叢書は斯界最高の權威者を以て監修とし、新進の學者之れに當り、雜溢なる典籍をして悉く現代口語體に譯出し、一字一句の註解なくして直に其內容を知らしめ、長文なる解說を附して思想全般を知らしめ、現代の書籍を讀むと何等異らざる容易さを以て支那哲學の全思想を味達せしむ。今や東方思想勃興の機に際し、支那哲學の研究は焦眉の急務、冀くば其精髓を採り來れる本書に就かれん事を!

監修 東京帝國大學教授 文學博士 宇野哲人

・譯著者・ 東洋大學教授 文學士 高森良人 / 浦和高等學校教授 文學士 小野機太郎 / 國學院大學教授 文學士 加藤常賢 / 山形高等學校教授 文學士 野村岳陽 / 松江高等學校教授 文學士 吉田義成

刊行書目 ― 全十二卷

第一卷 支那哲學概論	第二卷 周易
第三卷 論語	第四卷 大學・中庸・孟子
第五卷 荀子	第六卷 老子・列子
第七卷 莊子	第八卷 楊子・墨子
第九卷 韓非子	第十卷 淮南子
第十一卷 近思錄	第十二卷 傳習錄

內容見本進呈

詳細なる內容見本冊子御希望の方はハガキで申込次第急送す

第一卷出來 申込着金と同時に配本

◁規略▷

▼四六版ポイント組四百頁乃至五百頁、總布裝函入。全卷三十六圓。各卷三圓。外要送料

特價 ▼甲種(全卷一時拂)金參拾圓也 ▼乙種(六卷一時拂)拾五圓八拾錢也 ▼丙種(各卷每月拂)金貳圓七拾錢也

▼外に內地に限り申込金貳圓七拾錢。最終回費 ▼送本料各卷地方廿二錢市內十二錢。申込金及 ▼第一回分拂込者は甲種乙種には直ちに配本す

東京麹町區山元町一の三 (電話九段二二六二・二二六番) 新光社 振替東京四三三四〇

特價申込締切拾壹月末日

出版界の一大壯擧! 特價發賣申込大募集

職業 ◎熱日給三圓位◎ 說明 特約店 大阪玉造舟橋町電車道 豐國總本店

公認 生徒募集 京城府黃金町三丁目

京城自動車學校

運轉手收入多大 每月一日十六日開始

姉妹校 東京市京橋區 東京自動車學校 / 福岡市中島町 福岡自動車學校 / 大阪西區市岡町 大阪自動車學校

卒業生は鮮內は勿論內地にも就職大成を指導す

英新内閣顔觸發表
二十六日議會解散か

【倫敦二十三日發電】新首相ボナー、ロー氏は二十四日新内閣員の顔觸れを發表したるが二十六日議會を解散するならんと

英勞働黨政權に野心を抱く

【倫敦二十四日發電】英國勞働黨首領クラインス氏はブリスワルにて演説して曰く「勞働黨は戰鬪に政權を得べく奮鬪する力あり」と豪語せり

佛首相はトルコ贔負

【巴里二十三日發電】土耳其在留佛國人は佛首相ポアンカレー氏の土耳其贔負の感ある政策に對し抗議し居れり然し斯かる政策はモロッコ總督リオイテー元帥の如き人に依つて援助され居れり然し彼等は土耳其の關係の結果回教徒の世界に及ぼす結果の由々しき事を恐るればなり佛首相は近東講和會議に關し英國新首相ボナー、ロー氏との交渉を開かんとし居れるが該會議の成行は總て英國總選擧の結果に依り其の結果如何は重大なる問題なり

近東講和會議前途
露土兩國擡頭せん

【倫敦二十三日發電】英國總選擧を目睫に控へ居るを以て露土耳其の平和會議は十一月末迄には開催さるべくもあらざる形勢なり聯合國よりの照會に對し露外相チチエリン氏は右の意味の回答をなせり▲ムダニヤ會議の協定に依れば十一月末迄には聯合國軍隊はスレースより撤退する事になるを以て土耳其官憲は同地方にて完全に行政權を受ける事なく從つて種々紛議を起す事あるべしと期待さるゝ聯合國が若し土耳其との關係を回避せんとせば土耳其より受け居れる特權の拋棄を承認せざるべからず即ち治外法權を廢止し又關税自主權を承認せざるべからず而して聯合國は近東講和會議に勞農露國に完全なる參加を許さざるべからず露國は斯くてアンゴラ政府との間の條約により土耳其海峡の利益を擁護すべき權利を持ち土耳其の態度は更に強硬にならんと

講和會議は巴里で【巴里二十四日發電】

英佛政府は近東講和會議に關し協定を遂げ同會議は佛首相に依り十一月三十日召集されるが同會議は特別會議にして特別會議には露國セルヴィア、ウクライナ、ブルガリアも案内さるゝ筈なり

資源抵當問題に歸著
賠償問題に對する英佛の論點

【巴里二十三日發電】聯合國賠償委員會にて英國首席委員ブラッドベリー氏の計畫に對し佛は回答を中止し聯合國に獨逸財政の監督權を附與せらるべきことを提議せりブラッドベリー氏は監督には獨逸が其の交渉中承諾せる場合にのみ之に同意すと云ひ聯合國保障委員にて斯かる大なる權力を振るふものとせば英は撤退すと言へり結局賠償問題に對する英佛の論點は八月中と同様にしてルール地方に於ける鑛山資源を抵當とする問題に歸著し居れり

獨決濟延期承認【伯林二十四日發電】

聯合國各公館駐獨代表者と交渉の結果協定成立し獨逸は來年七月迄決濟を免除される事となれり

佛賠償案反對さる【巴里二十四日發電】

聯合國賠償委員會にて英、白、伊代表は佛代表バールッー氏の賠償案を激しく攻撃せり

米豫算額三十億弗

【華盛頓二十三日發電】聯邦豫算局は來年度歳出豫算を三十億弗程度に計上すべく努力中なるが本年度より七億五千萬弗の減少に當る次議會は尤も強硬に陸海軍經費の削減を要求するならんと推測さる

露支會議は十一月十日か

【東京電報】北京特電＝露支會議は十一月十日より開催の由なるが之は支那側の豫定なりと

西伯利齊多軍情報
浦鹽混亂依然繼續

【東京電報】左の情報陸軍省に達せり
一、チタ軍はウゴリナヤ附近に退却せるが如く第一線方面は平穩なり
二、浦鹽の混亂依然繼續し二十日以來水商鐵水する穀物類々然たるもの重要なる變動に依り未だ大なる變化を見ず
三、南部ウスリー方面に在るチタ軍約一千はスラヴヤンカに侵入しポセット方面の人心動搖すずトリックスは旣務方面は避難すと觀されり

南部烏蘇里状況（東京電報）

南部烏蘇里方面の情況
二、ポセットには十月二十日以來白軍及避難民約百五十名上陸しつゝあり
三、十月十九日赤軍約五十名はスワノフカに侵入せり
十月二十二日所屬不明の露國將校以下數名慶興對岸方面へ來り兵器彈藥及土民所有の兵器馬匹等を徴發せり
四、尚信ず可き情報に依れば二十三日琿春東方數里の露支國境附近に於ては赤白兩軍戰鬪中にして慶興對岸方面露領内に於て不逞鮮人活動を開始せるが如し

尼港又もやバ團に襲はる
智識階級殺害さる
在住邦人行方不明

【浦鹽電報】尼港の智識階級は全部殺害され資産家女學校はパルチザンの暴行を受け同地在留日本人は行方不明となれり

各國代表齊多軍と交渉
居留民保護につき

【東京電報】陸軍省着＝日英米領事及各國海軍代表は十九日午後六時半より英國軍艦に會合し協議の時局に關し協議の結果二十日午前ウゴリナヤに至りチタ軍側と會見するに決し二十一日早朝出發したるが會見の目的は各國各別にチタ側と接觸し日英は居留民保護米國は居留民保護及び給資補給問題の交渉依頼に付き交渉すべしと

日齊再交渉希望
多側

【東京電報】莫斯科特電＝チタ政府機關新聞テレグラフは十九日の社説にて沿海州に於ける勝利に依り日齊兩國の直接折衝する事に至れるを以て兩國交渉の再開は近からんと力説せり

白軍滿洲方面へ遁亡
總督府及各領事へ訓令

【東京電報】白軍敗北して滿洲方面に逃げ込みし形跡あるより日本政府は萬一の場合を豫想し各領事に對し嚴重の注意を拂ひ嚴正中立の態度を取るべき事を訓令したるが尚同様の意味を朝鮮總督府へも通じたり

官有財産整理内容
歳入豫算九百萬圓内外か

【東京電報】官有財産整理に關する十一年度豫算は歳入一千五百萬圓に對し歳出五百萬圓なるも其實際の整理は本年度が第一期に屬し殊に大藏省に對する組織も全部終了し居らざる際なれば豫定の如くに進行するは望み難き事情あるより豫算面の歳入は到底不可能にて十一年度の歳入に繰入るべき見込額は九百萬圓内外ならんと當局は豫想し居れり其歳入に充當すべき財源として最近に拂下を行ふべきは東京深川區冬木町貯木池一萬坪越中島五萬坪富山縣黒部三萬坪の一部分其他は北海道各府縣の陸軍、司法省の不用土地なるが拂下價格少く共二百四十萬圓と評價され居れり大阪府知事官邸は三千坪あり八十萬圓にて十一年度に於ては國庫の收入なりと雖も同官邸移轉後之れが拂下を爲す筈にて内務省は來年度に官邸移轉の豫算を計上しある關係上收入は來年度のものとなるべし

秩父宮御任官

【東京電報】秩父宮殿下には二十五日朝九時逗子御用邸にて陸軍省よりの少尉任官記を受けさせられ九時半歩兵第三聯隊に御參内攝政宮殿下より大勳位菊花大綬章を授けさせられたり殿下には當分以前通り御住所相變らず他の將校同様聯隊兵營として通はせ給ふべし

豫算閣議

【東京電報】來年度豫算に關する閣議は來月四日より十一日迄開催の筈なりと

小牧顧問官叙位

【東京電報】樞密顧問官小牧昌業氏は危篤の趣き天聽に達し左の通り叙位ありたり
樞密顧問官 小牧昌業
叙正三位（特旨位一級被進）叙勳一等授瑞寶章

拓殖局長官事務取扱任命

【東京電報】二十四日左の通り任命ありたり
拓殖局次長 元田敏夫
拓殖局長官事務取扱を命ず

將來鮮滿關係の一層密邇ならんとする今日川村氏の滿鐵社長は適材適所
―自分とは親交の間柄―
有吉政務總監語る

川村氏が今回滿鐵社長を仰付けられたことは朝鮮としても甚だ好いことである氏は確か
三十年の東大 出身だと記憶してあるが内務省警保局長和歌山香川青森各縣知事に歴任して治績を擧げ其の後原内閣成立と同時に擧げられて内務省警保局長に選ばれ手腕を發揮し拓殖局長官となり現加藤内閣の成立に依りて水野内相の推挽で内務次官となつて今日に至つたのである氏性剛毅且つ果斷に富み然かも度量海の如く加へて有名な讀書家であることは世上の知るところである
自分は同氏と は嘗て三十六年西園寺内閣の時自分が警保局長をしてをつた時氏は總保課長で同じく内務省内に職を溜して居り又自分の去つた後の警保局長を氏が任命されたる關係もあり深き親交の間柄であるたやうな關係で非常に親しくして居る朝鮮と滿鐵とは從來と雖も密接な關係があつたが將來は猶一層關係を密邇にしてゆかねばならぬ時に當り此の事情に諒解ある同氏を迎へたことは誠に滿鐵の爲め適材適所を得たる譯である

今回滿鐵社長に迎へたことは誠に適材適所を得たる譯であるが川村新社長は
人格常識
共に圓滿
美濃部鮮銀總裁談

【東京電報】川村氏は人格高潔にして特に常識圓滿なれば滿鐵の如き大會社の社長には實に適任なるべしと信ず只氏は官界の出身なれば實業界の經驗に乏しきもそれは副社長に適任者を得る事によつて缺點を補ふ事を得べし云々

良からん
一般の氣受
石塚東拓總裁談

【東京電報】川村氏は嘗に警察に於て一局長をして居た事もあり拓殖局長官として新領土の行政に經驗もあり性格も圓滿なれば一般の受けも惡くないと思ふ金の吸收等に付ては財界出の方が何かにつけて都合が良い事は云ふ迄もないが必ずしも左様とは限らない

川村氏の任命は當然の歸結
十分手腕を揮はしめよ
犇山前滿鐵理事談

【東京支局特電】前滿鐵理事犇山哲氏は語る『滿鐵社長に川村内務次官が任命されたといふが政府として今迄の行き掛り上同氏を任命しなければなるまい何しろ後任者につきては内輪の觝觸がまだ極まらない譯からで何や彼やと世間へ傳へられたのだからあんな事になつたのだ水野内相としては和田氏が拒絶した以上後任者に川村次官を推したのだらうが之れは政友會との關係上當然の歸結であらう東拓と滿鐵とは營利會社とは云ふものゝ國家的に極めて重要な關係のある處で外務省の指圖を相手にする實業家でも困るが又浪人風の大ザッパな人物でも困るそれかと云つて月給目當ての役人でも困る必要は政治的又外交的手腕のある人物が必要だ尤も政治家と云つても現在の政治家は偏に黨利にのみ走る傾向が有り困るそれから之れにも偏らない人々たる有識者であるから此の點も考へる西比利亞の政情は混沌として居るし又支那はあんな状態だから此の間に處して行くには餘程の手腕を揮はねばならぬ内閣の更迭が附物のやうになつて社長の更迭が繰返されて居る譯ではない政府も大事を遂げ得る五年十年の時日を假して遺憾なく十分に腕を揮はしめる雅量がなくては何人が任命されても成績の擧がる筈はない滿鐵から政府への納付金も四百五十萬圓も當分打切つて滿鐵に任意に使はしめたら面白からうが現在の財政状態では心細い次第である』

滿鐵副社長設置

【東京電報】滿鐵副社長は既に要職に就きて居る川村氏時代は特に置かざりしが中央財界と連絡を保つ必要上副社長を置き社長と交互に東京大連間を往復せしむるを以て得策なりと云ふに決したるが之れが詮衡に川村新社長に一任するに決したりと

島理事副社長か

【東京電報】滿鐵副社長は多分島理事に決定するならん但し滿鐵各理事は多分前例に依り一應辭表を提出すべし

内務異動
近々發表

【東京電報】近く左の通り異動任命ある筈
任社會局長官 内務地方局長 塚本清治
命社會局一部長 内務參事官 河原田稼吉
命社會局二部長 内務社會局長 田子一民
任地方局長 内務神社局長 山田準次郎
任神社局長 内務文書課長 横山助成
命内務文書課長 内務監察官 次田大三郎
任内務大臣秘書官 内務事務官 伊藤武彦

川村滿鐵新社長曰く
難局とは思つて居るが
まア一つ遣つて見る積りだ
自分は東京に半分位居る

【東京電報】川村滿鐵新社長は曰く『抱負を語る迄には未だ行かぬ今辭令が發表されたばかりだからね……やつと見る積りさ副社長は置くか置かぬか未だ判らぬ自分は年に半分位は東京に居る積りだ何れ近い内に赴任するが難局とは思つて居るがまア一つ遣つて見る』云々

赤池新任警視總監曰く
元の古巣に舞戻りか
朝鮮から歸つて一安心といふ間もなく

【東京電報】警視總監に親任したる赤池濃氏は語る『まだ感想などはない明治三十五年大學を飛び出し四十一年に巡査を振り出しに愛知兵庫とサーベル時代を過ごして來た大正八年朝鮮の騒擾時代の後を受けて警務局長として赴任し其時の朝鮮は物騒で僕の首が一千圓の懸賞付で狙はれ其後段々鎮まつた内地に歸つて一安心と思つたら推薦が懸せられる様な運命になり又復警視總監に拜命したのだから自分にも警視總監が勤まらぬ事はあるまい』

川村社長赴任期

【東京電報】新滿鐵社長川村竹治氏は本月末任地に向ふ豫定なるが著任と同時に約二週間に亙り滿鐵沿線を視察し十一月中旬迄に東上し視察調査の報告をなし後副社長の選任を見るべしと

警務局の社會問題調査
各道知事に通牒

總督府警務局にては二十四日附を以て各道知事に對し社會問題調査に關し(一)小作爭議の發生及び原因(二)同盟休校の發生及原因(三)同盟罷業に關する知事の意見(四)勞働爭議の發生及原因等の各項目に就き調査方の通牒を發したりと

意外に發展せる北鮮國境方面
有吉總監視察談〔上〕

去る十二日南大門驛から京元線で元山を經て清津に航し會寧、上三峰、穩城、鍾城、訓戎、慶源、慶興、雄基等北鮮國境に於ける主要地を巡視しそれより海路西水羅に渡り豆滿江を隔てゝ露領沿海州に面する西水羅の土里の状況を視察し更に清津に還航し羅南及朱乙溫泉に鏡城を訪問、三たび清津を經て海路城津に立ち寄り二十四日夜元山上陸昨二十五日午前六時四十五分南大門驛着列車にて歸來せる有吉政務總監の談に曰く北鮮國境を見たいといふ希望は決して今に於て抱いたのではない、私は朝鮮に赴任する前からぜひとも其時の來らんことを私に望んでゐて已まなかつたのである、況や本府に赴任して以來殊に西伯利の撤兵に伴ひ國境方面の住民が日夜不安の思ひをすると云ふ風な風說を聞くさへも心にかゝつてならない爲めに一日も早く其状を視察し地方民の
眞實の聲を 聽くべく内心少からず焦つてゐたのだが、赴任早々明年度豫算やら行政整理やらの事務に忙殺され次いでは攝政宮殿下の御渡鮮を御迎送申上げる等連日連夜
して和田氏が拒絶した以上後任者...
の物色至難に陥つた結果遂に川村次官に決定したのだらう

遂に此の旅程迄その希望を遂げる事ができなかつたのである、そこで總督の諒を得て此の好機を逸したならば再び今年の冬は來ぬやうにと決心して逐に翌日早速望みを斷行した譯で今少し悠つくりやりたかつたが何しろ國境方面には既に結氷期が迫つてゐるから靜はゞ取るものも取りあえず
怱忙の旅に 就いたのであつた。此の十四日間の慌しい旅で私の痛切に感じたことは國境方面に於ける内鮮人諸君の苦心經營した事の跡が豫想以上の効果を示し將來その步を進めてゐることゝ一般同胞の旺盛なることそれに人情が素朴であつて能く提唱することとなく自然に同胞共榮の實を擧げ何事も圓滿に遂行されつゝあることと及び交通の便が開けば同方面に於ける將來の必ずや刮目に値すべき幾多の寶庫を有してゐることで其の外觀に想つたことも決して惡くはなかつたが大體我々の豫想した以上に諸方面の
發展を遂げ つゝあつた事は所謂百聞一見にかずとの古諺を現實に證明されたもので私の欣快として已まなかつた所である、由來咸北の地とさへ云へば寂寥々たる不毛の山地でその一ヶ年の大半は漲突生活を續くるの外なく到底人間の住むに堪へない非生産的の地方なるが如く一般に傳へられてゐる樣であるが之を見るとは大きな相違で彼の城津を咽喉とする輸城平野の肥沃や鏡城方面に於ける雄大たる沃野を一瞥したら前言は立所に否定され同時に
南鮮地方に 劣らぬ將來を有するものなる事を首肯するに決して難くない、然も國境方面の沃野は未だ開發せられない部分が實に大

雪白の装ひを凝しつ
遥か國境の鑽峰は早や
雄麗なる海上の朝景色
總監有志の陳情を聞く〔下〕
清津にて 田邊椋鳥

船が淸津に着いたのは恰度午後の一時であつた、前田司令官の一行は雄基迄同行の豫定なので引續いて總監の一行と行動を共にすることになつてゐるが政務總監の一行は上陸の準備で慌しかつた、やがて双方の挨拶が濟むと警察部長や町中警察部長それに咸北道の宮島内務部長と三浦理事官等の顔觸が見えたのは又なく嬉しく感ぜられた、やがて淸津府尹及び道評議員と知事及び警察知事及び鏡城淸津府尹等總監の一行はランチに乘り移つた、ランチは一行と出迎への人々とで立錐の餘地もなき騰ひを呈した
◇ ◇ ◇
船が止まると、早くも出迎への淸津府の中央の東道に總監の一行はランチに乘つて、一行が府廳に行つた樣に北の有志者を歡迎したランチが白波を蹴つて進 のやうに本船へ迫つて來た、間もなく主客は『やあ入らつしやい、やあ御壯健で……』と互に挨拶を交換した、京城當時からお馴染の生徒等で人の黒山が出來てゐた、人込の 淸津府の附近は官民有志と小普學校の生徒等で人の黒山が出來てゐた
その傍には一々丁寧に鄭重な言葉をかけて出迎への士に挨拶を述べて居つた、可愛なる小學生及び普通學生の前では「お前達は何年生か、おゝ、幾つになる、元氣よくそして勉強せよ」などと全で我子をいたはるかの樣に優しい言葉をかけて居つた、一行が府廳に行つた頃には既に電報して置いたから茲には淸津府の有志と挨拶し玄關の四氏より陳情を聞く東北部總會に於ける四元、時津、金の三代表と委員及び協出同時間の調印者は一間島治安に關した重要案件は一間島治安に關する件、二成鏡線速成に關する件、三淸津築港速成の件、四同海港施設の件、五成北に中學校新設の件、六吉林線速成に關する陳情を要請するの件及び鐵城線遮斷設の七件であつた、總監は非常なる熱心を以てその陳情に耳を傾けて居た（十月十三日記）

普通通信生養成
生徒八十名募集

遞信吏員養成所では第二十一期普通通信生の養成を開始するに就き同所にて養成すべき者五十名假に郵便局にて養成すべき者三十名を募集中であるが教習期間は九箇月で入學資格は年齡十四歳以上十九歳以下の内地人男子及び女子朝鮮人男子で高等小學卒業程度の學力ある者選拔試驗は十一月二十七日から三日間鮮内主要地の郵便局で施行する出願者は願書に履歴書を添へて來る十一月廿日までに最寄郵便局所へ差出すべしと因に右通信生卒業後は全鮮郵便局所に配置して電氣通信に從事せしめ成績優良の者は漸次判任官に昇級させることになつて居る今迄に於ける同所卒業者の全鮮分布の狀況を見るに
▲京畿道一三百三十三名▲忠淸北道一十八名▲忠淸南道一四十四名▲全羅北道一十六名▲全羅南道一四十四名▲慶尙北道一四十九名▲慶尙南道一百十六名▲黄海道一十六名▲平安南道一五十三名▲平安北道一三十一名▲咸鏡南道一八十七名▲咸鏡北道一五十四名▲合計九百十六名である

浦鹽の安定は望まれぬ
外交上の難問題續發せん
亡命の白軍機關紙王筆語る

【元山特電】二十四日朝元山に入港せし釜山丸にて舊浦鹽の赤軍浦鹽を逃れ來りし白軍機關紙ウエルチルヌイ、ガゼット紙主筆イワノフ氏を訪ひて感想を叩けば悲痛なる面持にて眉を曇げつゝ『白軍の敗亡に依り自分の身邊も危くなつたが當元山に一兩日滯在の上何處か靜かな所で二三ヶ月休養して今迄の經過と意見を纏めて發表したいと思つてゐる今
勝者の位置 に立つてゐる赤軍が何時まで浦鹽の政權を維持し得るかは頗る疑問である自分が亡命した二十日接手した情報に依るとニコリスク附近を中心として活動しつゝある白軍一派の勢力はかなり旺盛なるものがあるとの事であつたが此一派にして萬一敗れたならば赤軍の支配を免れまい最も赤軍としては今まで山の中に籠り居たものが急に海邊に出たので今後は各國との接觸が一層頻繁になつた事は當然で
各國が 勞農政府を認めるとせば今後各種の交渉が頻發すべく孰れにしても外交上更に面倒な問題が續發せざるを得ない國が統一的安定を見るは其の如何なる政權の下にあるを論ぜず如何なる職業に從事するを問はず總ての國民が自己の勢力に相當する報酬を確實に且つ安定に得らるゝ時期を待つて初めて安定すべきである

辭令

朝鮮總督府技師 奥谿 叙正七位（以上廿三日付）
朝鮮總督府技手 奥 崇 [illegible] 依願免本官

出張命令

京城中學校長 柴崎 鐵吉
京畿道視學官 朴 榮 [illegible]
經學院司成 金 完 鎭
經學院講士 鄭 萬 朝
[illegible] 鄭 鳳 時
東京及大阪へ出張を命ず
東京京都大阪奈良及鹿島へ出張を命ず（以上廿四日）

安滿少將晩餐會

安滿參謀長は二十四日夕入城の鬼頭總督府警務局長は二十四日夕入城の少將官等を招待し同夜午後七時より朝鮮ホテルに晩餐會を開きたりと

得能書記官入城

滿洲方面視察中の得能拓殖局書記官は歸任の途次廿四日夜入城朝鮮ホテルに投宿せり

大塚局長歸任

有吉政務總監に隨行して咸北方面國境及間島地方視察中の大塚内務局長は廿五日朝歸任せり

竹内局長歸任

遞信局長竹内友次郎氏は事務巡閲の爲め忠南方面へ出張中の處二十四日夜歸任せり

前田司令官動靜

前田羅南師團長は二十三日午後五時二十分元山著の出迎をうけ元山館に入れり二十四日は府中に起き即日歸還一、二日滯在の由（咸井村特報）

人事消息

▲安武直夫氏（總督府文書課長）約二週間の豫定を以て旅順大連哈爾賓方面視察中の處二十六日朝歸任の筈
▲中村寅之助氏（總督府秘書官）總監に隨行中廿五日朝歸任
▲岩佐良治氏（東大教授農學博士）朝鮮各道協會出席の爲め二十六日午後七時五十分入城の筈
▲仁田直氏（農科大學教授）同上廿六日午前十時入城の筈
▲黒木少佐 二十四日入城朝鮮ホテルへ
▲近藤四三氏（馬山殖産銀行支店長）二十五日入城京城ホテルへ
▲金至渊氏（馬山殖産組合理事）二十五日入城京城ホテルへ
▲嘉納朝鮮銀行總裁 大連に於ける國際親和會支部發會式臨席の爲め五十二十五日朝發二十六日歸城の豫定
▲近吉領守使了少將 元山經由二十四日夕入城同夜北行奉天に向へり
▲木下文次郎少將（鐵道聯隊長）二十四日南大門通過赴任
▲篠塚少佐（軍務局課員）千九師團方面視察中の處二十七日入城同夜平壤經由滿洲へ向ふ筈
▲阪泉除太氏（鮮銀人事部長）二十五日朝出發一週間の豫定にて南鮮へ
▲韓相龍氏（漢銀專務）二十六日朝南大門發三週間の豫定にて内地へ出張

茶話

▲一般世人は漸くが過渡期から [illegible] の舊國を避難民を見て [illegible] どう感ずるか、彼等は亦天或は哈爾賓へ行くといつてゐるが果して何處まで行つたら彼等は眞の安住の地に辿りつくことが出來るだらうか恐らく彼等の一生を歩いても之は見出さないだらう▲不健全なる過激思想家に如何にその國民を誤れるかを悲しむと共にその國家を過ち如何なる國民として將來に繋がせざるを得ない▲内地村田氏の後任として滿鐵社長就任と同時の赤池濃氏の警視總監局長となつたので新任の赤池氏に丸山警務局長の警視總監がある長官に内定してゐたが▲丸山氏頭から茶にし『そう警視總監になれやう』と

無電托送擴張

[illegible]無線電信取扱を擴張し[illegible]托送の料金を一層引下げ約四百の[illegible]

青島牛内地輸出

[illegible]鮮銀青島支店の報に依れば同地特產牛は最近約千五百頭の輸出あり

中旬鮮鐵業績

[illegible]りを見ざるが輸出[illegible]の模様ありと[illegible]

乘車	三九四、二五二	三四、三三九	
貨物	九三、五三一	五、七七一	
客車	三六九、五四六	四、一五五	
貨車	三〇四、一二七	八、四二八	

筑摩城津入港

[illegible]明に佛教の儀禮を說破し餘興として[illegible]琿花節を演じつゝあるが來る二十五日午後七時より長谷川町公會堂に[illegible]

安東在軍招魂祭

[illegible]

修理イラズ 專賣特許 クトウ蓄音器 一九円 阪谷芳郎男爵より有功賞授與 宮内省御買上光榮 クトウ蓄音機商會

最新 藥種商講義録 星一先生（第四版正）東京本郷區 [illegible] 宮澤書店

京城店 京都 たま京染 ホボ京 深 御紋付のお誂は染の最好期 京城明治町本通り

ヤンマー 變量式石油發動機とモミスリ機 農工業用小型發動機の巨頭 女小供でも安心して使へる 故障絶無 無限責任 迷ふな 決定せよ 製作發賣元 大阪 山岡發動機工作所

登錄商標 十二指腸藥 アンキロ丸 斷食も下劑もいらぬ理想的簡易療法劑 袋屋藥司

ストーブ煙突廉賣 京城府本町三丁目五五番地 佐藤半次郎商店

仁川貿易のレコード破り
問題の壹億圓突破
十二月中旬には大丈夫達する

【仁川】仁川貿易一億圓突破は本年中には的確に豫想された事であり此の絶對的の記録に對して正に目睫の姿を擧げざるべからずと市民は多大の希望と興味とを繋いで其計數の累進を眺めて居るのである、處が本年に於て世間の不景氣や物價下落等の影響に伴ひ不振を描き從つて輸移出入品の減少となり夏枯れの七八月に遂に貿易額の激減を來した爲めに聊か豫定が相違し本年上半期の實額を以て推移すれば僅に十月末若くば十一月には此の一億圓に達して曉秋の港に一大祝宴が催さるべき筈であつたが前記の如き事情に餘儀なくされて遂に其實現は先づ十二月十日頃と豫想さるゝに至つたのである、仁川の九月貿易額は輸移出入合計九百三十八萬三千三百七十圓を示し前年同月に比すれば七十二萬四千餘圓の増加を示し一月以降の累計を以てすれば九月末に於て既に七千九百三十七萬九千五百七十七圓を現し大正十年の同月累計六千二百五十三萬餘圓に比して僅に一千六百八十四萬餘圓を増加して居るが今後の結果を見る時は十月十一月は最も出廻期と多物往入期品の移動等で可成り計數の増大すべき月であるが故に平均七千五百萬圓と觀て見積るも十一月末には一億に達すべく遅くとも十二月十日頃迄には此の希望は確に達せらるゝと殆ど確定の感がある

統營水産成績發表
朝鮮人側の進歩著しきものあり
内地人側は加工品に新しい試み

【統營】統營水産品評會出品物の審査は開場と同時に大井審査長指揮の下水産技師孫田技手等によりて行はれたが今其の成績の概要を聞くに出品の大部分を占めて居るのは第一種乃至第十種であるが第三種乃至第十種に分ち審査方法は種類に依り第一種より第十種に分ち朝鮮人の進歩は實に驚く可きものあり出品の如きも内地人と何等遜色なく入賞せるもの多く曾て統營に開かれた始政五年共進會以來長足の進歩を爲せるは驚歎に値す又漁具の如きも彼の防寒、網等特の改良を加へ相當なる成績を示し居れるは日頃の熱心を思はすものあり内地人側では新味加工品に極めて新しき試みを加へたる進歩の跡を認めらるゝものあり審査の結果一等八點二等二十四點三等百點四等百六十八點入賞したが主なるものは左の如し

▲一等賞　閑千鶴釜山靑市支店、同南面野島七郎治、淡葉釜山第二區潜水業組合、鰯罟釜山石谷若松、鹽石首魚統營千興丸、乾鮑同方德約、鯖鮑同釜山水産株式會社統營支店、八角網模型統營香塲漁場

▲二等賞　同香月喜八郎、同金潤洙、同金漢楚、同開田圓治、同平井健次郎、同田網治、海蔘同神野茂敏、乾鮑同同人乾蝦、同金領九、乾鮑同金子安、同同宋藥中、素干鰯同平井健次郎、寒天釜山開田惣九郎、浦鉾統營犬塚豐治、鹽鯖同山根市郎兵衛、鹽鯖同金九源一、鹽石首魚同國政國、鹽太刀魚同李元寧、鹽石首魚同鄭致基、鹽鯛統營渡荷其〆粕釜山令城督郎、移住漁村事業成績表漁用變遷模型漁業團、事業成績表統營統營漁業株式會社、和布統營姜太一（三等賞以下略）

涙を呑んで滯納處分
平壤府の納税成績不良
強硬手段を執ると秦財務課長力む

【平壤】平壤府當局は府税の滯納處分に就き從來平壤府では三税（國税、府税、學校組合費、學校費等一切の諸税）の徴收に就ては成る可く府民の自覺に訴へて完納の好成績を擧揚せんとし一面滯納中には便宜の場所に金庫の臨時出張所を設け納入に便を與へたるは勿論納期後に於ては納税又は督促の勸誘に依り納附の注意を促すに勉め爾府職員を出張せしめ各戸に就き徴收する等出來得る丈け

穩和手段で 徴税の目的を達せんと勉めて居るに拘らず成績の督促機關から數次注意あるのみならず税金は兎角徴收成績不良の爲めに收入不足の爲め府營一般の利便増進の爲めたる施設の實行や教育上の施設にも支障を來して居る狀況である一部府民の不心得の爲め府民全體に迷惑を與ふるは甚だ不都合な事であるが府財務課では涙を呑んで已むを得ず此際強硬手段を取る事となり滯納處分を組織し執務要項を定め滯納者は此際從來の未納税金を完納する事とした滯納處分を斷行することゝした

無用な手數 を省略すると共に財源整理への不名譽を受けざる樣注意せられん事を切望し左に要旨を記載する事としよう

一、總督府吏員等を滯納者各戸に出張せしめ更に一回督勵を加へ尚納付せざる者は其氏名税目金額を滯納處分班に報告する

二、滯納處分。滯納處分班は府屬を班長とし府吏員等三名を以て一班を組織し三班を設くる豫定。班長は第一項の報告を受けたる時は直ちに財産は五日間の猶豫期間を置き夫迄に税金督促手數料滯納處分に要したる費用を納付した者には差押を解除するが若し五日間に納付せざる者は公賣に附する。

因に上記の滯納處分の斷行は目下手中で十一月中には全部の處分を終了する豫定である

一切の費用 は滯納者の負擔に屬する規定なれば一般滯納者は今日以上の費用を負擔する事となり延滯金を科せらるゝと同樣の結果に陷る事であるから此際進んで納附する方が便利である

道路橋梁工事

【平壤】總督府土木部平壤出張所にて目下工事中のものは一等道路に於て京城義州線（開城平壤間）宣川朔州線（大館朔州間）假設橋架設……鐵橋一箇所）で二等道路に於て……小洞線（二里半）价川郡外二橋の架換工事に設計中……右の總工費は九十二萬圓を示してゐると

四年計畫で
咸南道路改修

【咸興】起債百三十萬圓を起して咸南道路に於ては大正十一年度より四年繼續向ふ十五年間に返濟する目的を以て總計百三十萬圓を以て道内一二等道路の改修に着手したるが其後右豫算に變更を來たし總工費百十五萬圓に減額し目下着々工事中に屬せるが其本年度施行のもの成興、新安州線二等道路七萬圓、成興利原、鐵源線三等道路四萬圓、端川線三等道路四萬圓にして成興、新安州線は目下工事施行認可申請中なるが十一年度より十四年度迄四箇年繼續事業にして利原、鐵源線は利原より端興里に達する六里二十二町間を總て改修するものにして尚三箇所は本年内には完成の見込にあり利原、端川線は仲々の難工事にして總計十二里の内改修を要するもの初め三里許りの局部改修を行ふもの、なるが大正十三年迄三年繼續事業にして工事總計三十萬圓の内前記四萬圓を本年度に於ける工程とするが改修程度は牛車を通ずるを程度として改修せらるゝものにて何れも目下着々工事進捗し居れりと

滿鐵の經營變更と
東萊居住民の奮起
有志大會を開き野心家を糾彈

【釜山】土地買收の行惱みから滿鐵が東萊經營に大變更を見るに至つた事は既報の通りであるが右につき東萊居住民は二十一日有志大會を開き私利に動く心なき一部の地主及び野心家を糾彈すると共に滿鐵後援會を組織し滿鐵當初の計畫を遂行方につき久保京管局長及本道知事に陳情書を提出し陳情運動を起した

安東驛改築難

【安東縣】安東驛は去る明治四十四年安奉線開通當時假建築せるものにて一時的家屋を建設したる結果狭隘を感じ不便少からず殊に小荷物受付場所の如きは倉庫場と混用し居る結果列車の發着時間には常に非常なる混雜を呈し居るを以て改築すべく昨年三十萬圓の豫算を以て本社に提出中なるも目下本社の財界の現狀に鑑み着手し得ざるを以て差當り小荷物受付口及び改札口等を現在の二倍大に擴大すること、なり來年早々工事に着手する筈であるが又其他に於ても不便な點多く貨物の如き列車發着時間の長き爲め是非必要なるが當分修繕を加へ現在の儘にて使用すべしと

高普期成陳情

【春川】本府財務局兒島事務官は地方視察の爲去る十八日來春せし機を利用し春川高等普通學校期成會有志三十名は同氏を訪問して高普校の設立に就き縷々陳情せし所ありたり

高普期成役員會

【春川】江原道春川高等普通學校期成會に於ては基本金募集に着手せしが以來着々進捗しつゝありしが意外にも豫算縮小の問題に出會し本年度の官立高等普通學校も實現し難き趣きにて一般非常に憂慮しつゝあるが去る十八日に本部役員會を開き協議したる結果十二年度内に官立の實現出來ざる時には公立にしても兎に角高普校設立する外なしとて道に直接運動して目的を達せむと決議し之が期成會役員を選定せし結果、金泳模、李元、李某諸氏選ばれ交渉に當ることゝなり又官立にする時よりも經費多額に上る見込なれば六萬圓寄附すべき計畫を二十萬圓に増額し春川郡負擔八萬圓を十萬圓にし十萬圓は鐵原各郡の負擔に内定せり之に對しては近く各郡支部長會を開催する豫定なりと

滿洲管見（六）
哈爾賓にて　靜山生

十七日は北滿の祭日であるから日本の各官公署銀行會社等は休業するので此の日一日は市中も休まねばならぬ、此の休日を利用して哈爾賓を一巡し内外人の施設を見物する事に決めた、一昨年安東領事館勤務より哈爾賓總領事館に轉任して居らるゝ國吉君を東道に賴んでホテルを出たのは午前九時頃である、國吉君は着任以來約一ケ年有半になる相で、おまけに其の職業柄非常に哈爾賓の事情に精しい、

先づ馬車を傭ふ、馬車は無賃位で乘車すれば驛迄にぼらるゝ相である、から一時間何程と約束して乘るに限るとの事で、先づ一時間一圓と云ふのを八十錢で交渉が纏まりて一巡を始めた、驛を加へて迷る、哈爾賓の大路小路には碧い小石を敷て布いてある、馬車の音轟々、馬車、自動車の往來、實に繁るが如く哈爾賓の一大都市哈爾賓の朝は活く賑やかたるものがある、先づ埠頭區を一巡して、松花江を見る、松花江は予が想像して居た程の大河ではなかつた、

日露戰爭當時安東に居て鴨綠江を見慣れた予の目には甚だ物足らぬものがあつた、松花江の鐵橋も鴨綠江の鐵橋に及ばぬ事遠しい、而し松花江の船は我が國の船で、外國製の汽船が多い、事業しきは何となく賑い國にでも往つた樣に感じられて面白い、江畔の朝風は既に寒かつた、毎年夏期の頃になるとこの江中には遊覽船や遊泳で非常に賑ふ相である、松花江を見てから新市街を一巡す、此の市街は主として官衙や公署の多かつた處で相當に立派な建物が櫛比して居る、新市街から馬車を走らすこと約一里、我が志士沖禎介氏外五名の忠魂碑を訪る、哈爾賓城頭の秋は風は國にして蕭條たる朔風は胡砂を捲いて悲しとも云ふ

この邊一帶の地は既に市外である、近頃露國人が日本の市外及び處の小さな家屋を新築してあるものが頗る多い、而し其の建物の多くは粗雜たる洋風である、蓋し露國人が市中の高い屋賃を拂ふよりは自ら小額の費用を投じて新築し茲に移り住んで永住の計をなさんとするのであるとか

其忠魂碑の建設せられた現在の位置は實に沖、横川の兩氏が露國兵の爲めに捕縛された處で、碑はコンクリートを以て築き上げたる宏壯なる設計であるが……志士の血も躍るなるべし

第三回讀者慰安巡回活動寫眞
廿六日　午後七時より　新義州　常盤座
廿七日　午後七時より　義州　公會堂

種子更新計畫

【平南】平南道では大正十一年度以降の九箇年計畫で水稻種子の更新を行ふ事となり其要更新面積は一萬六百九十四町九反にて右を五箇年計畫で施行する……此の更新計畫の外に今後の採種圃面積六十四町一反八畝である、この種子更新の結果は平南の原種圃では毎年原種を採種し……一萬四千六百八十六町八反歩に達する見込である。

安東縣と天長節

【安東縣】來る卅一日は天長節なるを以て安東は満鐵公會堂に於て官民合同の觀賀會を行ひ午後五時より安東驛前に於て官民合同の觀賀會を催すべく安東驛前館にては午後二時より外人有力者を招待して祝賀を催すべしと

南浦展覽會の呼物
奇想天外な假裝隊
開期の切迫と各方面の大活動
本社支局も休憩所を設けて讀者優待

【鎭南浦】會期漸く迫るに連れ鎭南浦の人氣は更に人氣を生みつゝあり市民は開會期の來るを待ち佗ぶるの有樣であるが鎭南浦府特志實業家の企てに成る假裝行列は各方面の人氣を集め……假裝デーの名の下に假裝者は豫想以上の多數に上る見込である、當日は奇想天外な假裝を見るに至るであらう、假裝者出發心得は左の如くである

一、時日　廿九日午後二時〇五分

一、會場　會議所樓上に集合

一、祝酒　を酌むで大部隊を編成し市中を練りつゝ會場に至り

尚協賛會餘興部では別に各地方からの特殊觀覽者を歡迎する筈である

菊花展覽會

……菊花展覽會である……其他に親しき催し物としては

一、何人の參加も自由にして

一、會費不要、假裝舞踏……

觀覽人心得

一、本會は大正十一年十月廿八日より十一月三日迄開會す

一、觀覽時間は毎日午前九時より午後四時迄とす但し時宜に依り其時間を伸縮し又は入場を停止することある可し

一、觀覽人は受付に於て所定の入場料を納め觀覽券の交付を受け入場口に於て係員に之を渡す可し

一、入場料は大人（十五歳以上）五錢小人（六歳以上十五歳未滿）二錢とす但し學校生徒は一錢とし六歳未滿の小供は入場料を要せず

一、觀覽人は荷物を携帯して入場することを得ず但し傘杖又は手提等は此の限りにあらず

一、觀覽人は指定の場所以外に於て喫煙又は飲食することを得ず

一、觀覽人にして泥醉瘋癲其の他公衆に妨害あるものと認むる者及前二項の規定に違反する者は入場を拒絶し又は退場せしむることあるべし

一、遺失物及拾得物を發見したるときは直に警察署又は係員に引渡す可し

一、本規定以外の事項に關しては總て係員の指示に從ふ可し

愛婦春川支部の新事業
役員會で決定

【春川】愛國婦人會春川支部にては去る二十一日郡廳會議室にて役員會を開催し總會……一事業計畫……其の他役員會を以て決議したる事項は左の如し

一、事業計畫

イ、孤兒救育事業ロ、病院保護事業ハ、幼兒樂遊園事業

二、實行事項

イ、時間を勵行すること、ロ、訪問は主人側に迷惑を掛けざる樣注意すること、ハ、年末年始中元の贈答を廢する事、ニ、見舞祝儀香典の返禮を廢する事、ホ、婚禮葬祭は簡易質素にすること、ヘ、節約デー又は貯金デーには付け經濟の收支を明にする事、チ、家計簿を備へ付け……成るべく現金買物を爲す事、リ、衣服は成るべく色物又は質用を旨とし流行に走らざること、ヌ、家庭經濟に關する講演會を開催すること

鴨丸北鮮沿岸調査

【咸興】總督府釜山水産試驗場試驗船鴨丸は過般來北鮮沿岸漁業調査中の處廿二日成興西湖津に入港……の漁業調査を爲し居れるが十一月一日より鏡城方面に向け出航することに決定したりと

天安驛助役榮轉

【天安】天安驛助役は京畿線坐驛長に榮轉し十二日赴任の途に就く後任は南大門驛の小山勝二氏なりと（天安）

統營より

◇「統營の水産品評會」……大盛況を呈して居る、漁港の統營が一時に活氣を帶びた樣である

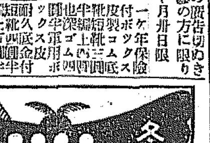
◇「水産品評會」は殘念ながらお祭の際に腕やかであつた、一面の水產品評會では……

◇統營は狹い所であるが流石に潮が溢れて居る『アレ御覧なさい』……

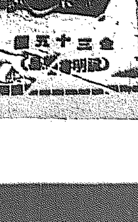
◇統營から脱出した……

見違へるほど肌の生地から美しくする

見違へるほど
肌の生地から
美しくする
ホーカー液
朝夕の御化粧料として計りでなく化粧下ＨやＥ止肌アレ止にもよし
廿八錢　五十八錢　一圓四十五錢
ホーカー化粧品本舗
堀越嘉太郎商店
神田和泉橋


値下斷行
各種一割引　但し十月卅日限
此の廣告切ぬき持参の方に限り
一ケ年保險付
代金引換必ず一割前納無くば發送せず
東京神田淡路町角　合名會社　柴田靴問屋
電話神田二八六七
古靴やボール紙入粗品は販賣せず

Violet Ray　High Frequency
Radiorayor
權威ある紫光線電波療器

電波療器　ラヂオレーヤー
日常の些細なる疾患より難病の効なき難治の重患をも快癒する
ラヂオレーヤーの不可思議なる效能力は日常の些細なる疾患より難治の見放した幾多の重患をも迅速に快癒するの偉力がある。本器は米國の偉人エヂソン氏の發明に係り強力なる電波を發生すると共に紫光線とオゾーンとを同時に人體に導入して、新陳代謝を旺盛にし、血行を良くし細胞を刺激する。本器を一度應用すれば激甚なる疼痛も忘るゝ事を得、肺、肋膜、胃腸等の内臓の疾患、神經痛、不眠、頭痛等の神經系疾患を快癒し、其他病名の付くものに對しては悉く驚くべき奏効がある。從來の藥物療法に慊らざる人は速かに本療法を試みられよ。貴下は即時に御家庭に於て代金引換の出來る小包便で即刻發送致します。
發賣元　東京市本郷一丁目九番地　ラヂオレーヤー商會　振替口座東京五二四七番
京城本町二　バイン商工株式會社
同　田器械店
鎭南浦元町一ノ二八　三須商店

金三十五圓
病を癒す

冬物御召用
エジプト英
フランス英
ラクダ
蝶矢のシャツカラー
類似ノ粗製品ガアリマスカラ蝶矢印ト御指名ノ上最寄ノ洋品店ニテ御買上ゲ願マス
東京　大阪　蝶矢シャツ製造所

花柳病物語

世に花柳病程恐る可きものはない。可惜有爲の才を抱きながら、本病の爲めに顏色は蒼白に變り、頭腦又明晰を欠き、輕症は神經衰弱に、重症は不具の身となりて再び活動し能はざるに至る。

淋病や梅毒に苦む方は一刻も早く信用ある製藥會社の藥を選んで速に此憾ふべき亡國病を滅し其苦痛から遁れる事が急務である。

東洋第一の星製藥株式會社は國家的衛生の見地より下記の如き理想的治療豫防藥の研究を完成して之れを發賣す。

淋病　内服藥　ホシゴノール　五拾錢　一圓　二圓

梅毒　内服藥　ホシサヨリン　五拾錢　一圓　二圓

淋病　注入藥　ホシズルファミン　五拾錢　一圓

金は必ず活して使ふべし！
藥は必ず製造家を選らべ！

東京京橋南傳馬町
資本金二千萬圓
星製藥株式會社
各地特約藥店にあり

黄海金剛の名にし負ふ 長壽山の秋は今正に酣

探勝の一日を塵外に逍遥す (一)

殘月生

金剛山から歸つてもう二箇月半になる。惜しの別れを告げて戴いた手紙〆あるので懸くならぬ内にとアセつてゐるが、どうも今分では都合が付きさうにない。折角少しばかりの暇を得るには得たが、暇には短く機には長くて金剛山再遊の役には立たぬ。黄海金剛の名を得てゐる長壽山なら近くもあるし日數も節で濟む。一ツ行つて見ぬかと殖銀の賀田君に勸められて、都門の人熱落にウンザりしてゐた折も折とて早速その氣になつた。

朝の十時五分に天羊君と共に南大門を發した。水色、一山の邊に來ると左方の平野は一面の黄金の海で曠野の瑞氣が豐饒いてゐる。此邊はどうした加減か刈入れが遲れてゐてまだ十分の一も刈つてない。中にはまだ實みの瘦つてゐる稻も見える。金村、汶山と北に趨くに連れて收穫に忙しい農夫の姿が次第に多くなる。彼方に一群、此方に一群、賑傑相助つゝ利鎌を秋の空に揮つて勝ち誇の勇士のやうに嚴立てゝゐる。今年近くなつた田圃では其田の作主の要君であらう、琵琶の物を頭に戴いて搬んで行くのが見える。既に一畝が手を休めて小高い土手の上に樂さうに話を採つてゐるのもある。少し離れた圃の邊には柔和な黄牛が長い手綱を緩く曳いて秋の野をあさりながら負ふべき稻束の出來上がる間を待つともなしに暇さうに眠いてゐる。前村と後村との間の田圃を桃色の上衣を着けた乙女が小走りに走つて行く。犬が一匹野良を歩いてゐる。西鮮の山野は見渡す限り豐年の瑞氣が濃厚である。

沙里院で降りて西鮮殖産鐵道に乘換へる。殖鐵出張所の内田君が態々下さつて吾々の案内として金永國君を同行せしむるとのお話である。縮めての吾々は至極好都合を感じて有り難くお受けをした。殖鐵で上陽まで行く途中は北鮮の洪水で非常な損害を蒙つた地方である。左右の稻田は見るも無慘な姿に立ち枯れになつてゐて稻穗一つも見當らぬ。鍬にする程の價値もない短い藁が淋しく河原の雜草のやうな格好に茫々としてゐる。之を見ては作り主も刈り取るだけの勇氣が出ぬのであらう。

上海で乘換へて殷栗江に沿うて内士に達した。內士は三菱の鐵坑のある所で恰も汽車の終點である。內士から鐵山を越えると前面に長壽山は屹然として風のやうに立つてゐる。[illegible]

婦人講座

婦人の服裝と化粧

洋服は何故日本婦人に不調和か 藝妓が衣服の調和を上手に圖るのは美的眼識が自然に養はれてるからだ

醫學博士 杉田直樹

現代婦人の洋裝や化粧を見るに遺憾な方面の調和を考へないでたゞ流行るからといふので似合はなくても似合ふやうであります。

洋裝の婦人 近頃は大分見受けられるがどうも見窄らしくてよく似合ふと云ふ婦人は殆ど見る事が出來ません、これは西洋婦人の格好の好い姿を見た眼と因襲的傳統的に染まれて來た日本人の服裝に對する鑑識との間に新しく洋裝の日本人を置いて批評する爲めであります。日本人の服裝はあまり白つぽい物、鈍つぽいものなどは

特別の場合 の外には用ひないで紺だの緑その他色々な濃い物を用ひて居ります。紺にしても緑にしても多くの黄色分を含んでゐるものでかやうに色の濃いものを着物に用ひるのは元來あまり面白くない。皮膚の色、ことに顏の色をくつきりとさせる爲であります。ことに半襟なんかはその人の美を調和する中心となるべき顏に接する所であるから着物の色との調和

顏との調和 を計つて顏をはつきりと浮き出させるやうにしなければならないのです。こんなわけで、身體を包む着物の色合と顏色との境目には、くつきりとしたけじめを立てる事が大切なので、西洋婦人などは日本婦人の半襟に當る處には飾りをつけるとかネクタイを結ぶとか、上着とは正反對の色合の襟をつけるとかして非常に苦心します。かやうにすると、一寸人が見てもその服裝は直に顏に來るわけであります。日本人は大體から云へば

頭髮の色と 黒つぽい着物の色とが一つになつて引き立たないので、帶の濃い帶にいろくな工夫をして襟を引立たせるやうに出來てゐるのです、ですから着まきの注意集中點として、帶は重要なる役目を持つてゐるわけであります。これだけでは下の方が不安定に見えるので頭髮に色々な飾りをつけることになりますこれは如何いふわけであるか審美學的に說明して見る

顏色と衣服 の色とは調和の外に形が安定に見えます。形の外に[illegible]のに頭が小さく縮まつて居ては不安定な形となるのであります、で、和服に調和する頭髮の形は、あまり小ぢんまりと纒つたものよりか、ゆつくりと大形のものゝ方が好いのであります、なほ丸髷とか高髷などに結つた場合は足が見えない樣に裾長に穿ると安定な形になるので踏い足袋などを穿いては駄目であります。尤も足駄を穿いたら傘をさすと形が安定に見えます、

と、すべて物は安定を得た形でなくて調和よく見えないもので例へば西洋婦人の姿は、スカートが三角形をなしてゐて、スカートの中に應じた帽子を冠るので安定な形になります、この形はちようど燈籠の形と同じであつて、燈籠は觀美的にも理學的にも安定な形であります即ち彼の光りの部分が燈籠となる處に當つて下の三角形にひろがつてゐる所がスカートの上にある屋根が帽子に當る處であります。この理からしてランプなどもかさの形で安定にも不安定にも見えます

日本婦人の 姿はあんどんの形の樣なもので、あのあんどんの頭の大きさと様の長さ、帽の大小によつて形が良くも惡くもなるもので其の形にはちやんと法則があります、頭から帶のあたりまでがあんどんの上として下の様が帶から捌まで當るわけであります、こんなわけで

背の高低に よつて帶の高さに注意する事が大切なので、西洋婦人は帽子を冠らなければ變であるし、和服姿で市際の帶をしめてゐる

廿餘縣の大水害で五百萬人救濟

冬を越せない氣の毒な被害民 救濟資金八百萬弗を計上

北京特電 本年八月に於ける浙江省直隸省等二十餘縣に亘る大水害のため救濟を要するもの五百萬人內救濟を受けなければ冬を越せないものが二百萬人救濟資金八百萬弗を要する見込であると(東京電報)

陸軍戰法の革新【中】

複雜多種の新火器と兵卒の自發的戰鬪時代

機關銃の增加した事は歩兵の火力を著しく增加したが歐洲大戰の初期まで用ひられて居た形式のものは行軍の輕捷を尊ぶ歩兵用としては頗る不充分であつてこの式の機關銃を用ひる事は歩兵の行動を鈍重に陷らしむる懸念があるので一層輕快に運動し得べき機關銃の必要を生じた、而して其理想は大戰の中期に實現せられた、之れが即ち今日各國歩兵の主要火器とする輕機關銃である。斯くの如くにして各國の歩兵の機關銃は益々發達し先づ敵を破るには共有する機關銃を撲滅してからでなければならぬ。敵の機關銃を撲滅するには砲火の威力に俟つのが最も有效であるが常に砲兵に依賴する時は歩兵は其行動に束縛を受け戰の主兵たるの價値を減ずるを以て歩兵も獨力を以て敵の機關銃を壓伏するの機能を具備しなければならない此の必要から現今は平射、曲射の歩兵砲を加へ或は擲彈筒又は擲彈銃を備へ歩兵の獨立性を完全にしたのである。以上述べたる如く現今の各國歩兵は多種複雜の兵器を以て裝備せられ世界大戰前に歩兵が專ら小銃と銃劍とを以て武裝せられ加ふるに若干の機關銃を以て居た時代とは比較する事が出來ぬ現今歩兵の武器は左の通りである。

(イ)中隊に有するもの

(一)小銃(補助火戰用)

(二)輕機關銃(主要火戰用)

(三)銃劍(接戰用時として短槍有刺提棒の類を加ふる事あり)

(四)手榴彈(接戰用、此の內煙霧、焼夷彈等の特別の用途のもの有り)

(五)照明筒(近距離よりする敵の側面攻撃の警戒用)

(ロ)大隊に有するもの

(一)重機關銃(主要なる火戰用現時の重機關銃は間接射擊を以て遠距離にある目標に對し大なる效果を現はすを得)

(二)平射歩兵砲(目視し得べき機關銃に對する破壞用)

(三)曲射歩兵砲(堅固なる掩蓋を有するか又は彈丸等に遮蔽せる機關銃破壞用)

機關銃の如く歩兵の裝備が複雜となると火力の威力とは戰法の根本的變化に必要を生じ茲に各國は競うて歩兵の戰法を改良すると共に機關銃の採用と共に殆ど一世紀餘の久しき亘りて用ひられた散兵戰術に代ふるに戰鬪群の戰法を以てする事になつた、而して此の新戰法の時代に移りつゝある今日は[illegible]

大戰に於いては今後歩兵の威力を發揮するの道は一に戰鬪群の動作に俟つて、殆ど一兵卒に至る迄其自發的の威力を發揮せしめざるべからず[illegible]

を有するか又は彈丸等に遮蔽せる機關銃を以てし更に爆撃歩兵の輕機關銃を以て之れに參加せしめ以て敵の陣地を攻撃するのである。斯くの如く數多の歩兵に突入し最後の勝利を求むるのである。斯くの如く多種の兵器を有する歩兵の戰鬪は指揮の統一を要する事多く[illegible]

大阪の鮮人宿

宿料は平均十五圓

最近大阪玉造警察部内の朝鮮人下宿屋調べに依ると同業者は全部で廿軒あつて家賃は二十圓から百圓までだが五六十圓が先づ普通である、家賃は十五圓どころが多くこれを疊一枚に割ると安いのは一圓高いのは二圓五十錢で普通が二圓といふところでこれは粗末な家の割合に高い、そこで下宿の方は疊一枚に約二名の割で雜魚寢的に人を收容し下宿料月平均十五圓をとつてゐるこれは家賃の高い爲め自然下宿料が高くなるといふ譯である(大阪電報)

女學生卅七名 寄宿舍脫走

試驗問題に憤慨して

千葉縣君津郡木更津高等女學校四年級は二十一日行はれた物理の試驗が難問で大部分落第點を採つたのを不平とし寄宿生三十七名は二十三日夜寄宿舍を脫走逃走したので善後策考究中である(木更津電報)

大邱銀行の支配人急死

妙な噂が流布さる

二十三日大邱銀行支配人古藤氏が急死したのでいろ〳〵な噂が流布される殊に同行は內地人によつて經營され內地人重役は松浦商店主坂本俊資氏と古藤氏の二人に過ぎないので從つて古藤氏の逝去は社會の疑惑を招くに至つたのである、殊に松浦店の如き之がため資產の動搖ある如く傳ふるものもあるも大邱銀行は來堅實なる發展を見つゝあつた際のこの如きことはあるまいと語つてゐた(大邱)

懸賞寫眞 京城卅五景

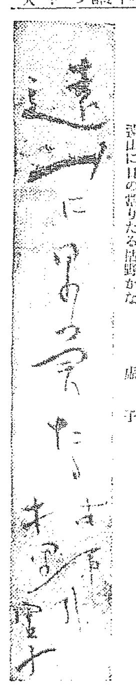
カメラ黨の活躍

朝鮮寫眞協會が朝鮮事業の擴張と京城の優秀なる風光を普く紹介する目的で懸賞募集する京城三十五景の寫眞はカメラ黨に多大の興味と人氣を以て迎へられ我こそ入選の榮冠を得んものをと夜半一時二時カメラを携へ市中に出掛けて或は京城の夜景に心を傾け或は未明に起きて白雲の如く一瞬に消ゆる朝霧を趁ふ人あり或は夕暮の景色に心を焦がしてレンズを向くるなど苦心慘憺たる撮影の作成に努力しつゝあつて二三日の休日は郊外に寫眞撮影者が群をなし[illegible]てモデルの選擇に鍛勞し二十四日は遠眼を郊外に向けて取入れんとするカメラ黨の姿を市中殆ど至る處で散見したが、撮影道具と共にカメラ黨の活躍は一層目覺しくなるであらう(寫眞材料店の話)

毒瓦斯で

工夫五名即死

[illegible]鐵道工事場で廿三日午後二時頃發破をした處工夫五名即死し七名瀕死の狀態にあるので直ちに病院に收容し目下取調中であるが原因は坑內で發生した毒瓦斯らしい(長野電報)



高濱虚子氏筆 遠山に日の當りたる枯野かな 【本社短冊色紙展覽會出品】

陸大卒業生 天保錢廢止

海軍では修業證書を廢止

陸大卒業生の胸間に燦然として輝く天保錢は參謀本部や陸軍の名物として多年來色々の非難あるにも拘らず今日まで存續して居たがこれも時代の趨勢に抗し兼ね廢止さるゝ事となり海軍大學校の修業證書を廢止する事を確定した(東京電報)

妻を斬つて切腹

犯人は陸軍將校から藥劑師になつた者

[illegible](東京電報)

走馬燈

お茶の水高女で生徒に將來の希望をきいて見た處、今の女學生は軍人よりも實業家の方が好きで此頃嫁に行くのが上手な人や技術家を理想とする者が一番多く軍人は振られて一人も希望者がない。『軍人は此頃張り合ひがないから』だそうな。

◇[illegible]

◇此頃宮內省で頗る付きの金髮美人を英語教師に聘つて老官吏まで若返りの『かしこみまうさく』式の發音で勉強してゐる、其の士も英語が必要されると思つてるんだらう。

第二回 全鮮圍碁大會

期日 十一月十二日(第二日曜)午前十時開始

場所 未定

會費 金參圓(但し茶菓及晩餐を呈す)

審判員 三段 紀本龍太郎氏

主催 京城日報社

は惡く密封して市內各寫眞材料店で保管してあるので內容を窺知する事は出來ぬが此分ならば豫想外な優秀な作品を得られる事を期待されてゐる、今月末に締切り入選品はコロタイプ版にし寫眞帖として一般に頒布する由

特賣品抽籤

京城工業組合主催三越合同製品陳列會の特賣品の抽籤は二十四日午前九時から本町の商業會議所で行はれたが物に依つては百に近い札があり[illegible]午後二時終了した、當選者は左の通りである

一、重箪笥四十八圓入札者三十二名當籤者[illegible]

[illegible]

東京湯錢値下

問題の東京湯錢は十一月一日から値下を決定した旨警視廳に屆出た(東京電報)

演藝案内

黄金館 十九日より三大映畫提供 大活劇 巖窟の奇縁 六卷 ... 青狐 ... 不如歸 全十卷

大正館 八百八狸 全七卷 ... 望みの指環

京龍座 姉妹 全五卷 ... 松旭齋天露嬢

喜樂館 世界的大奇魔術 ... 水道人夫 全五卷 ... ロッキーのルス

浪花館 堀部安兵衛 全七卷 ... 人情落語 橘の圓

帝國館 元和三勇士 五卷

明ぼの日記 六卷

商業登記公告

[illegible] 京城地方法院 春川支廳

生殖機能衰弱—神經衰弱の復活

記憶力—思考力—增進法 戶塚醫學博士の完成 新學理の發見

トツカピン 主治効能 生殖器能衰弱、神經衰弱、早漏、陰萎、老衰、精力減退 創製者 醫學博士 戶塚隆三郎

藥價 五十錠 二十五錠 ... 日本一手販賣元 東京市芝區愛宕町二丁目一 丁子堂藥局

めりんすの投賣

大巾一反 壹圓八拾錢 特上品 貳圓貳拾錢 優等品 貳圓四十錢 最上品 貳圓九十錢

△友禪模樣 △絶對棚ざらしやローズ物に非ず▽ あまり値段が安いので安からう惡からうと思

東京毛織廉賣所

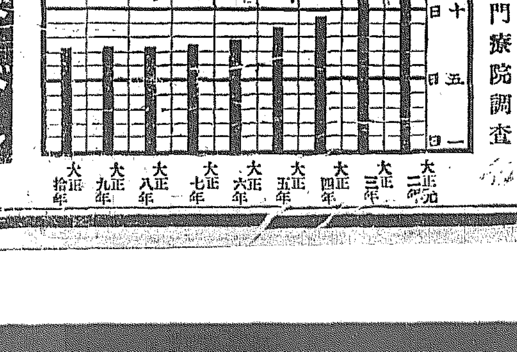
婦人洋服專門 子供洋服部 トヤ婦人子供洋服部

京城府旭町二丁目七五

日本自動車學校

東京蒲田驛前

脚氣本症ノ平均持續比較表



アンチベリベリン 療法の偉績

心臟が治るまでの年平均日數が十五日強から七日強まで

都築かつけ專門療院調査

發賣元 東京市麻布區笄町 南信堂藥局

發賣元 大阪市東區伏見町(堺筋) 南信堂出張所

◇◇說明書送呈◇◇

かつけ新藥 アンチベリベリン

日英米獨政府專賣特許

陸軍一等軍醫正 ドクトル 都築甚之助氏發見

弊害の伴ふ 朝鮮婚姻法改正されん [illegible]

白 春に入らん

雄基慶興間 電話通話開始

風のそよぎにも心おく 哀れ果敢なき落人の群

最後まで戰線に踏み止まり 時に利あらずして身を以て遁れた將卒 光景轉た慘澹を極む

露國義勇艦トングス號(四三〇噸)は船長アオーツシリーエフ操縦の下に白軍の將卒及び其家族四百九十八名を乘せて命からく元山に遁入して來た、避難者はボールオプスキー少將以下最後まで戰線に立つてゐたもので一切の武器を身につけて居らず、何れも垢と塵に汚れた想ひくの衣服を纏ひ危急の場合漸く身を以て遁れ出でたので極端に疲勞困憊してゐる、腕を失ひ足を傷きて松葉杖に縋つてゐるものあるひは頭部に負傷して繃帶の上に生々しき血潮の滲み出てゐるもの傷病兵も尠からず、苦戰のほども偲ばれて光景慘澹を極めてゐる一同、一と先づ哈爾賓に落ち延びる考へで上陸許可を嘆願してゐるけれども別項釜山丸等の避難者と異り何の身を以て遁れ出でたるもののみの事とて旅券を所持するもの尠く殆ど無一文の有樣なり、且は外國船の事とて手輕く上陸を許可する譯にもゆかず、係官に於いても處置に困り其筋の指揮を仰いで適當の處置をとることゝなつたが、南風競はず勝てば官軍敗けては賊の風のそよぎにも心を惱らす、果敢なき落人の身となつて事のなりゆきを徒らに心配してゐる有樣は憐へやうなく氣の毒なものである、中にも一婦人の如きは波に揺られて急に産氣づき苦悶に絶え乎せめて病院まで上陸させて呉れと嘆願するなど光景酸鼻を極めてゐる(元山電報)

母國を逐はれた 白軍の幹部亡命

前大臣や其家族等 飛廻つてゐる女優アーニヤー孃

白軍の幹部便乘亡命の噂あつた朝鮮汽船釜山丸は二十四日朝豫期を破つて午前五時半元山に入港した同船には豫てのヂトリックス將軍等は乘船して居なかつたが前外務大臣ニコライ・メルクロフ氏一族を始め前沿海州大臣ネッチナー氏其他白軍の幹部連及びその家族連や白軍機關紙として最も有力であつた夕刊ウエルチルヌイ・ガゼット紙の主筆イワノフ等五十三名が乘船して居たが何れも時利あらずして遂に母國を捨てなければならなくなつた不運を嘆き一種凄愴の氣が彼等の面上に漲つてゐたメルクロフ氏の家族六名だけが門司を經て上海に逃るべく船に留まつた外メルクロフ氏外一同は陸路の哈爾賓に向ふべく午前十時發の列車で京城に向つて一行中異彩を放つてゐたのは浦鹽一の女優として其技藝と美貌とを謳はれてゐたアーニヤー孃(二七)がや、面窶れした顏に云ひ知れぬ悲哀を浮べながら然も努めて快活を裝ひ飛廻つてゐたのは涙を催さしめたことであつた(元山電報)

秋雨蕭條たり 身の措き所なき彼等

旅券を所持せるものは上陸さす

二十四日夜半敦賀行トングス號に乘つて僅に身を以て赤軍の急追から命からく元山に遁入して來た白軍のボールオプスキー少將以下四百九十八名の將卒は其筋からの上陸許可指令の達するを待つて居たのであるが二十四日午後二時過ぎ總督府から旅行券を所持せる者の外は一先ず上陸を禁じ至急出港すべき旨の命令に接しこれが傳達を受けた一行の面には一種形容し難き驚愕の色が現はれて來た、赤軍が殘虐の矛を磨きて待ち受くる浦鹽へ向つて引返せとは卽ち死せよとの命である、さればとて糧食と石炭との缺乏した今になつて何處を指して行くべき處も無く、よしや糧食と石炭の續く限り彷りなき航海を續けたればとて果して天ヶ下何處にか其の身安住の地を求め得べき、彼等にとりては涙りに流き流民の悲しみである。折も折りとて午後四時頃から秋雨瀟瀟と降り出して元山灣内に四百餘人に送る數々の小船に五百人に近き[illegible]避くる術も無くてだに涙に濡るゝ被衣の袖を[illegible]に吹くに任せてビショ濡れつゝ[illegible]に當て無き身の不運を天に叫び地に哭して居る有樣は目も當てられざる慘めさで、見る人何れも[illegible]の涙に咽び『人道上何とか此の[illegible]に入つた憐れな難民を救濟する適[illegible]の處置の付け方は無いものか』と[illegible]り合つて居た。此の慘狀を傳へ聞いた元山本町某氏は自ら若干金を以て食糧を求め之れを彼等に贈つて慰問したさうである人の情に國境はない美しい話である。國を失ひ家を失つた憐れむべき彼等の前途や果して如何、船は湾内に錨を下ろして元山港頭淋しく泊つて居る。

問題のメルクロフ は來ずに大臣が三人

セ軍參謀黑木少佐談

メルクロフが乘つて居ると噂のある逸出邁へると同氏は乘つて居なかつた二十四日元山發の一番列車を誠政府[illegible]たがメルクロフ政府時代の外務大臣

赤軍の採るべき道は 浦鹽へ進出するか凍死するか

の唯二途よりしかなかつた 市內の秩序は二週間にして恢復せん セミヨノフ軍高級參謀 黑木少佐談

身は反過軍のアタマン、セミヨノフの高級參謀として知られた黑木少佐は浦汐の激變の兆に接し帝都を發し本月十日單身浦汐に到著し反過軍の志氣を鼓舞したが大勢は如何ともする事能はず遂に二十日浦汐出帆の最後の便船寒山丸で浦汐政府主班ニコライメルクロフやイワノフ等と共に引返し二十四日元山上陸同夜入城朝鮮ホテルに投宿し二十五日朝鮮軍司令部に大庭軍司令官を訪問同夜發錦東したが少佐を軍司令部に訪問する

浦鹽政府の紛擾は政府自らも又既に世人に認められて單に時期が本年中か又は來年解氷期か未定であつたので、現在の如く敗殘した軍の最大原因は白軍に兵器彈藥のなかつた事である首腦ヂトリックス氏は我軍撤退と共に處分する保管の兵器彈藥は當然手に入ると考へたが彤然は讓渡せず遂に十五日迄に武器を入手する能はざれば白軍の浦鹽撤退を覺悟した

今回の避難民は赤軍入城と共兵匪の暴行を恐れた有產階級の者及紳士の反抗派の者でそれ等は正政府反抗者に屬す赤軍は黑表中に記入せられたものが多いで其セミヨノフ將軍は目下天津に居て反過激派の幹部と共に徐ろに時期の到來を待つて居り[illegible]、而して浦汐政府を[illegible]に對しては[illegible]赤化主義[illegible]や浦鹽を完全に赤化し既に共和國はスワノフカに進出しチトリックスの手に南下したが兵と所々に交戰して居る報が傳はる[illegible]の不利を試み一應極東一帶の赤化に任せる事を勸め又そうする外

手段か無かつた、而して極東の混亂狀態なるものは一つか浦鹽に進出したのは赤軍は除儀なくされ其今は結氷前に浦鹽に入るかには露國民の[illegible]に遇へて凍死するか[illegible]れるかの二途あるのみで其物は[illegible]は容れぬ彼等も浦鹽に入りしは止むを得ず[illegible]して止まなかつた武器彈藥を手に入れるとしたなれば市内の秩序は二週間内に恢復する事は疑ひない斯くして今後の[illegible]の西伯利[illegible]するに露國勞農政府の治下に[illegible]内部より崩壞する可能性を有して居る、勞農政府は極東共和國の[illegible]に依つて完全に[illegible]國内を統一したと思ふやれ[illegible]來露西亞の革命は[illegible]階級の日に[illegible]たが露國の革命は人種爭と階級が[illegible]の上に築かれたもので階級鬪爭は無産階級の勝利となりますが次で起る可きは國内多數のユダヤ人と露國系の鬪爭が起る事は必然の理で勞農政府は目に[illegible]ユダヤ人の大膽[illegible]世界に於けるユダヤ人の[illegible]金て其反對としてはアングロサクソン族の排斥運動に[illegible]ル、バシヤの後援等、其裏には[illegible]自己民族擁護の目的に他ならない[illegible]を占めて居る。勞農政府に[illegible]の勢を[illegible]の[illegible]も有利となる[illegible]大[illegible]の[illegible]政治の[illegible]得るのみに止めた[illegible]れ果て人民は[illegible]し、神を求め、或は[illegible]何處に行つた[illegible]な叫びが[illegible]致治が完全に人民を救ふ[illegible]い事を自覺して來た、次に起る[illegible]は國内のユダヤ人と露國人との[illegible]部鬪爭か行はれ勞農政府に[illegible]生む樣になりはしないだらうか』

人騷がせの前外交部長

實はメルクロフ氏の弟 本尊は今米國に居る

二十四日元山に上陸した避難露人の中にメルクロフと云ふのがあつたので同夜は六名の家族と共に同地に一泊二十五日[illegible]京城を經て長春に向つた、一時はメルクロフ氏[illegible]府の外交部長をして居たメルクロー[illegible]と同名なので若しや其の人ではないかと一部の間では大騷ぎを演じたが某消息通の話によると二十五日入城したメルクロフ氏は前外交部長の弟で是まで浦鹽で辯護士をして居たのである、前外交部長のメルクロフ氏は夙に米國にあり今やこの二人の兄弟の間には頻繁に電報が往復されて居ると云ふ事である、更に前外交部長の[illegible]メ氏が米國に渡つたことは隱れもない事實で今年の夏だつたか途中東京に立寄つて帝國ホテルに滯在した時各新聞に寫眞まで出た位だから間違ひはないと云ふ者も居た

負傷者に治療を施す

元山の官民協力して 有吉總監も同情し 三日間の猶豫を與ふ

一行を率ゐたボロジロスキー少將は憐れな面持で吾々の中で旅券を所持して居るものは僅か三分の一しかありません、在浦鹽の安樂大佐から、通に朝鮮へ行けそしたら通過さして貰ふやうに電報で手續をして置くからとの保證[illegible]い言葉で入港したのですが……と言葉を濁らせて居た、元山の官民は嚴くに同情してパン、メリケン粉、砂糖等を寄贈した彼等は涙を流して感謝した、同行の中には百六十名もの重輕負傷者が居るので府尹や醫察署長等は協力して元山府内の醫師及看護婦を督勵して治療を施すことにした恰も同夜十時開島方面から有吉政務總監の一行が入港したので元山の官民は直に總監に相談する所があつた總監も深く彼等の窮狀に同情したが事國際關係に屬する問題であるから彼等からの願出で取り三日間の猶豫を與へ其間に前後策を講ぜしめる事になつた、二十五日は直に關係筋に最善の處置を取る事に決定した

大部分は 長春へ向ふ

一部は滯城中

浦鹽から避難した露國民は續々京城を經由して各方面に夫々出發しつゝあるが二十三日着の四名二十四日着の百八十八名及び五十名計二百四十二名の内二百三十五名(男百二十二、女七十六小供三十七)は二十四日夜をかけた

二十四日午後七時五十分南大門驛着列車で元陸軍少佐原淳一氏が入城すると云ふので水原まで出迎へて列車を探さなく探して見たが忽ち見えないので京城に歸つた、所が驛員の注意で同列車を調べて見ると原氏は最後方の三等車に乘つてゐる事が判つた、早速挨拶して來意を語ると『有り難う、然し寫眞などは誠に恐れ入りますが……』と云ひつゝ僅に見送りに來た人と共に、一せ、[illegible]な大變と紙の話を聞かうとてゐるのに出向いて[illegible]の方に出ると原氏は今尚ほ非常な慰勞狀を持つてゐた、然しさんは手を引いて[illegible]語る刹那であつた、諸處の國境に向はんとする刹那[illegible]の事に[illegible]誠に何とも申し譯ない次第です、然しそれでは已になつて居ますのです

社會の厚き同情に 身を碎いて國家に盡さう

歸鄕後何をするか まだ其所は考慮してゐない 元陸軍少佐 原淳一氏談

[illegible]しい次第で死體の搜索は[illegible]合せて上、驛長に一度京城に來たので、驛途に御禮を[illegible]して直に京城に[illegible]人は人民の方がなくて死骸の搜索[illegible]に[illegible]。二十六日までには[illegible]です、[illegible]でも既に[illegible]と思つて居ます、然し[illegible]一寸話をする[illegible]が、竹澤氏に殘つたのは[illegible]ら[illegible]ました

新任の嬉しさを包んで

どうか宜しく願つておくよ 川村新任滿鐵社長談

滿鐵新社長川村竹治氏は二十四日午後六時三十分京城驛着列車で入城した新社長は[illegible]來記者の[illegible]答へ[illegible]てくれ給へ朝鮮の方には今後特に御世話にならなければならないどうか宜しく願つておくよ』と[illegible]は二十五日午前[illegible]多數の訪問客が續々として盡きなかつた(東京支局特電)

露國避難民 本社訪問

貴社並びに貴國の好意を感謝す

二十四日府内を見物した露國避難民一行は午後三時本社を訪れた、一行はジョンスウツツと稱する商業家ばかりであつたが中にも有名な本社記者に對する新聞寫眞技師と歸ら左の如く語つた『吾々は浦鹽や沿海州に於ける日本の官民の方々に對して盡してくれた好意を感謝しなければならぬ、浦鹽に於ける日本の盡力は[illegible]ない程である、日本軍は撤兵した後もその思想に[illegible]落ち延びたが、悲しい事に際の時の日本は無いので吾々の思想も[illegible]ある、今は決して變化が無いことを信ずる唯一の聯關である猶又吾々は貴社が此の際を[illegible]してくれたことも日本官民に謝す』

京城著名 會社商店と マーク合せ懸賞募集

商標(マーク)は其會社、商店、商品の何れを問はず之れを代表すべき大切なものでありますそれでお互にマークを尊重し愛護し、記憶すると云ふ事は必要であります、此意味に於て先づ京城間の會社、銀行、商店、組合の主なるものの中より商標の組合せ第一回懸賞募集を致します天長節祝日十月三十一日の紙上に發表致します

京城日報社

十一時十分發列車で長春方面に向け出發したが殘りの七名中男三女三はファミリーホテル他の男一名は朝鮮ホテルに投宿滯在中である、尚ほ二十五日午前六時四十五分南大門驛發列車で長春へ向つた、[illegible]軍で十六名(男八女五小供三)の避難民が元山から入京したが其の內二名は午前十時發の南行列車で內地へ他の十四名は同十時五分發列車で長春に向つた、

生計困難に 厭世自殺

夫遂に終る

二十四日午後八時三十分頃京城[illegible]人[illegible]めて會つたのです、我儘で困ります[illegible]と今年七歲になる子息の眼を掛でながら淋しく笑つた

興味深い 懸賞マーク合せ募集

來る三十一日紙上に 女にも子供にも出來る問題

商標は其會社、銀行、商店、商品を標示する唯一なものであるマークを組合はする極めて興味ある懸賞を[illegible]は商家の一員として記憶せしめ[illegible]を組合はせ[illegible]來なさい、第一回は[illegible]しますが詳細は三十一日に發表するのである、本社では[illegible]の[illegible]して[illegible]る三十一日の天長節の讀者の[illegible]して京城市內著名銀行會社商店の[illegible]

一等(一名) 金側腕時計
二等(三名) 反物一反宛
三等(三名) 置時計
四等(四十名) カディ石鹸

秋季消防演習

二十八日擧行

京城府內秋季消防組演習及び消防隊[illegible]は二十八日午前八時より本町[illegible]に於て擧行される筈であるが當日は消防隊長及び消防組は[illegible]、[illegible]長に[illegible]されて定刻迄に指定の位置に集合し[illegible]の上午前九時[illegible]鮮銀前に[illegible]て[illegible]し[illegible]隊長の訓示[illegible]、京城消防組[illegible]移り[illegible]は一同京城消防組の[illegible]樂部[illegible]消防[illegible]ある筈

郵便飛行

東京大阪間 石橋氏參加

東京大阪間の郵便飛行參加のため二十四日朝下關を通過東上した石橋飛行家は[illegible]る飛行は今秋郵便飛行の第一回にて當局に於ても天候の都合で延期した郵便飛行に參加の決心であつて[illegible]から平壤に[illegible]飛行で[illegible]する[illegible]が[illegible]らず、降雨多く決行不可能の[illegible]れず止むなく七百噸の木浦[illegible]したが[illegible]遲れた[illegible]云々(門司電報)

伊達家の慶事

總督の媒酌で

伊達家分家[illegible]の伊達宗[illegible](現在は留守[illegible])と[illegible]の[illegible]の二女[illegible]は[illegible]總督の媒[illegible]で[illegible]二十三日[illegible]の伊達家に於て結婚の典を擧げた[illegible]に[illegible]して現に朝鮮に於て[illegible]を求め[illegible]して居ると(東京支局特電)

國境を越ゆる

白軍の避難者

赤軍に敗れし白軍側の露支國境を越えて琿春地方に避難し來り去る二十四日三百四十八名の避難民あり[illegible]々として來り支那官憲もその處置に窮し逃走中なり右件に就ては[illegible]氏との間に何等かの[illegible]あるもの、如し而して避難民は[illegible]人及其の家族四千を算す[illegible]は局子街に送るべく馬車五百臺を用意せりと(間島電報)

江戸奴公判

[illegible]十九日の判決を受けたのを不服で控訴して居た江戸奴は京城地方法院に於て正式裁判を求めて却下された江戸奴は直に控訴の手續に及んだので不日京城覆審法院で公判に附せられることゝなつた

生活改善のパンフレット

總督府京城[illegible]された生活改善[illegible]如何にして節約するか』と題するパンフレットを發行した。內容には二十數項目の記事を掲げ特に節約の習慣の[illegible]に[illegible]を入れたのは[illegible]を博してゐる

『內地の歌』作曲

總督府に於て[illegible]『內地の歌』作曲は第一輯に限り二千部を一般の希望者にも無料配付するといふ申込先は京城府黃金町ノ九生活改善促進會宛で二錢切手壹枚入を要すと

コレラ豫防注射

[illegible]では[illegible]一般家族使用人四千四百名に對し近日コレラ豫防注射を行ふ筈なりと

黃山流獻花會

黃山流華道[illegible]は天長節祝日を卜し獻花會を催す[illegible]十九日午後六時より京城ホテルに於て門人七名に對する皆傳免狀授與の披露會を催すと

泰山畫伯來る

[illegible]として名ある矢野泰山氏は今度金剛山探勝の途次入城したので同氏の有志[illegible]起となり[illegible]を開く筈なり[illegible]は[illegible]京城[illegible]三丁目佐々木聚古堂に滯在

樂園洞の行倒れ

二十五日午前四時頃樂園洞[illegible]番地先に年齡六十歲前後の鮮人が行倒れ[illegible]して居るのを通行人が發見した[illegible]一時は他殺の疑ひがあつたが[illegible]の爲め遂に餓死したもの[illegible]は[illegible]

自治衞生組合

[illegible]置では管內[illegible]生[illegible]の理想を[illegible]の各洞を[illegible]に[illegible]を[illegible]してゐる[illegible]の九町[illegible]の撤水[illegible]組合に於ける西小門[illegible]水[illegible]一[illegible]、[illegible]二十四の[illegible]居るが[illegible]て[illegible]林洞一七三番地[illegible]李[illegible]合に[illegible]本財產を得[illegible]の向上を[illegible]である

帝國館

廿六日より新寫眞上映 實寫『伊太利深山の探險』喜劇『好た惡した』二巻喜劇『元和三勇士』一五巻新派劇『不思議の犯人』五巻新派劇『和歌の浦波明ぼの日記』六巻

喜樂館

(特別興行)二十六日より寫眞番組今回は日活自慢の映畫のみを上場する舊劇實話『入道人夫全五巻ルスローランド嬢主演連續活劇『ロッキーのルス』十一篇十二篇、松之助の仇討美談『堀部安兵衞』全七巻

けふの値段(廿五日)

公設市場小賣値段

品名	單位	價格
砂糖 赤白	一斤	二七〇 二五〇
米粉	一袋六十目	一四〇
パン粉	一袋九十目	一九〇
ヴドン	一把	一七
白絞油	一合	一二
醬油上	百匁	三〇
辭の素	一ビン	四〇
新興カンシ	一袋	三〇
出昆布	百匁	三〇
煎子上	同	三〇
味噌	同	五
糯の粉	一袋	一二〇
片栗	同	一二〇

精力素 滋養強壯 體質改造劑 せいりよくそ 發賣元 東京芝 國民體力改造同志會 (全國各藥店にあり) (一日僅に四錢) のめば丈夫になるクスリ

消化と毒けし 仁丹

男子判任官 女子判任官 速成 (郵便局、鐵道局、遞信局を始め各官廳の判任官) 郵便局、郵政、郵便局書記、遞信書記補、稅務署員、其他各官衙の判任文官に最大速成講習申込み期、左記に申込め、尤も速成に受驗講義錄は部の…[illegible] 東京本郷 帝國受驗後援會

オリエンタルスパークニス 輸入防濕と耐水、耐酸、耐熱 古きを捨て新しきを採れ 代理店 堀田京城支店 京城府南大門通三丁目 電話一一九番

活動寫眞 幻燈機械 フイルム 日本映畫研究所 大阪市西區北堀江通 新活動寫眞フキルム出來 童話劇 紫の花 闇に咲く花 伊勢內宮外宮

保險金受領廣告 朝鮮生命保險株式會社 被保險者 李重九 平壤 李重九

ゴム靴の御仕入は トクナミ商會 值段大下落 品質優良日日多數製產 大阪市東區博勞町 製造發賣元 トクナミ商會

謹告 小生儀改築工事中の爲め休業中の處來る三十日より日本館部を以て開業致候間不相變御眷顧の程伏て奉願上候 敬具 平壤 柳屋旅館 中野才

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町 入院隨意 日曜祭日休診

京日案內

獵犬 一頭至急讓受けたし 但し相當手馴れたるもの 姓名は京城日報社仁川支局にて

古本 賣買 京城本町二丁目 文光堂 電話三四八番

毛皮 買入 並になめし仕立 京城本町二 電話二〇六五番

債權 賣受手形證書 京城旭町一ノ九一 公明社

看護 婦並見習生募集 (特典あり) 京城府花園町 京城看護婦會

讓店 電話付商店あり本町五丁目扱の場所 御希望の御方は至急御申込 電話本局九八四番へ

女中 年齡不問至急入用 京城黃金町 新井

外務 員募集 京城府內 市內の地理に精通し外交に經驗ある者 京城 保險

募集 集金人 年齡二十以上 京城 帝國生命保險會社京城支店

中古 オルガン買入 京城 杉野樂器店

採用 外事社員 內地人 大同生命支部

五號活字十六字詰五行一回壹圓 三號活字 假名ハ壹個四十字… 納ノ事

時に恐るべき罪を犯す 夫が邪魔になつて遂には夫を殺し殺人犯を構成することがある其の上早婚は男子の老衰を早めるから總督府は新に男十七、女十五の[illegible]

チ將軍の麾下 西水羅に避難

西水羅警察署長よりの電報に依れば[illegible]

馬車に轢かれ 重輕傷を負ふ

[illegible]

國境間の電話線は此程竣工したので二十六日から一般公衆用に供することになつたが其の通話區域及び料金は左の通りである

安中草三郎

第一三四回　猫遊軒伯知講演

小さな庵室

女『アレまアあんなヅウ〳〵しい事を吐かすよ』草『コレ女心配するな、それでは此女の名は何と申すか』男『エヽと……此女の名前は……あのお錦と申しやす』女『アラまアあんな事を……旦那樣私の本名は錦と申しますが』草『名まで違つて居るな、然らば此女の年は幾歳になる』男『エヽそれは其の何でございませんナエヽと……今年二十七歳……』錦『違つてよ私は今年三十五』男『エヽ旦那えこれは夫婦の間柄の事旦那樣の御存じねえ事でございますから御構ひなくお構で下せえ』草『イヤ貴樣は怪しい奴、捨て置くことはならん』と刀の柄に手を掛てブツリ鯉口を切ると、魂消た坊主は驚いてバラ〳〵と藪の中へ逃げ込みました、草三郎は女を庇ひながら草『宜い宜い分つた、俺も旅上がをして難儀を為た事がある、途中は油斷のならんもの何かお前は盜まれはせんか』錦『盜まれるやうなものもございません、何とも旦那樣有難うございます、只今も申します通り此の向ケ谷で農業をして出掛て參りますと那の男が見え隱れに尾けて參りまして、淋しい土手へ掛りますと早足で追つ駈て參り唐突に私の袖を引いて姐さん今夜は俺と一緒に泊らうぢやアないか、杯と厭らしい事を云ひ掛けますので何うしやうかと途方に暮れて居りますと、旦那樣のお姿が見えましたのでお縋り申した次第、お蔭樣で危ない所をお助け下さいまして有難うございます』草『それは〳〵マア怪我がなくつて宜かつた、殊に秋の夕暮れは往來も少く此の淋しい往來を一人で歩くといふのは宜しくない、其方は此近在の者か』錦『ハイ私はツイ此の近所のものでございます』草『左樣か、今宅へ歸る途中か』錦『ハイ、甚だ申兼ねましたが是から二十町ばかり參りますと小庵がございます、それが手前の宅でございます故何卒お立寄りを願ひたうございます』草『お前は今亭主があると云つたが夫れは宅に居るのか』錦『ハイ、良人にも此事を申してお禮を申上げたうございます故、何なら何うかお立寄りを……』草『私は今晩鴻巣泊りの積りで彼處まで行くさへ難儀と思つてゐるのに二十町も横道へ入るのは困だ迷惑千萬、併が少しの間見て居て遣るから氣を付けて行くが宜い』と云ふと女は涙ながら錦『あんな惡者でございますから先廻りをして居るかも知れません、若し旦那樣のお姿が見えぬやうになりますと、又どんな目に遭ふかも知れません』草『それも道理だの、先廻りをされちや困るが、併し俺も疲れて歩けんからの』錦『旦那樣田舍の茅屋で見苦しうはございますが、朧に靜かでもあり最う日もトツプリ暮れました故、何も御世話は出來ませんが今夜一夜お泊り下さる思召で……』草『イヤそれは添けない、そんなら其方の宅まで送つて參らう、先に立つてお出でなさい』錦『それで私も安心致しました、有難うございます』とイソ〳〵足も輕く先に立つて參ります、草三郎は件の女の後に附いてドン〳〵横道へ入り、彼れ是二十二三町も行つたかと思ふと突當りに庵室めいたやうなお堂らしいものが見えます、生垣のある破れ門を潜つて臺所口へ參り錦『サア貴方何うぞお入り遊ばせ、只今お洗足を持つて參りますから……那のモシ今歸りましたよ』〇『大層遲かつたな、途中で間違ひがありやア爲ねえかと思つて心配して居た』と奥の方から聲を掛けたは、此庵室の堂守をして居る四十の坂を二つ三つ越した長病ひでもしたか窶々と月代を生やし髯だらけの人相の惡い男、嚴無地の着物に腰法衣を着し、眼が少し惡いと見えて手探りに跛行出した。

內科小兒科皮膚花柳科　院長　今村純　永樂醫院　京城永樂町二ノ七　西本願寺前　電話一九四四番

豊竹廣司の一世一代　淨瑠璃會

西大門外にて永年稽古場を開き居れる豊竹廣司は今回各郷中の贔屓を得て十月二十七、二十八、二十九三日間毎夜浪花館にて一世一代の淨瑠璃會を催す由語り物次の如し

十月廿七日　日頭記（一聲）梅由（いづみ）又助（一鳳）木下（巴龍）辨慶（巴）皿屋敷（登鶴）鈴ヶ森（櫻峰）太十（和玉）太十（春日）忠六（廣玉）仙代（小鳥登）百屋（皆春）寺子屋（山枝）合邦（皆春）新吉（圓遊）沼洋（石水）玉三（錦曲）

廿八日（二日目）太十（一糸）谷三（呂昇）御所（二宮）陣屋（ほまれ）木下（登佐）作償（登花）濱松（丁子）御殿（竹田）土橋（叶）沼津（染イ）寺子屋（吾妻）千本櫻（吉彌）彦九（旭升）松榮）太十（扇玉）

廿九日（三日目）合邦（一樂）朝顔（梅幸）松下住家（にしき）太十）登初）太十（竹司）沼津（花月）濱阪（司）帶屋（叢）梅由（南玉）三浦（昇）八陣（玉糸）壺阪（喜笑）忠六（露鳳）太十（水音）辨慶（綠）伊勢音頭（鈴廣）新吉原（鬼十）

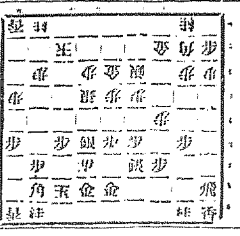
將棋新手合（三）

於京城明治町小林儀右衛門氏宅　桃友會主催藤呂木七段歡迎會

飛香落　△七段　藤呂木光治（東京）　▲　馬場秀雄（京城）

▲持駒　馬場氏　歩

（圖は前號指了迄の局面）



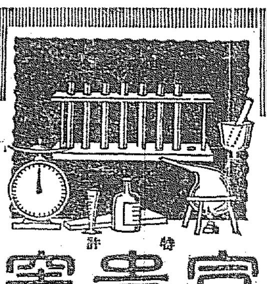
△八四歩▲二五歩△八三玉▲二八飛△七三桂▲二四歩△同歩▲同飛△二三歩▲二八飛△八五歩▲一七桂△三四銀▲七七歩（ホ）△同歩▲同金△四五歩▲同歩▲同銀▲四六歩（以下次號）

藤呂木七段講評

▲（ホ）七七歩打ち面白からず三五桂と穩に飛ぶ方味ありて面白し

生活二ヶ月餘の猶豫へ醉漢も能くつく樣です十）我子同樣に愛して下さる子供なき方に差上げます近々移轉につき至急入來にあれ（黃金町四の二六八號藤生）▲旭町一の一目拔きの場所に立派な士族がある御希望のお方に御用立て致します（旭町一の一中村內）▲南大門驛構內に小荷物係の小僧さんは公衆に鄙しモツト親切でありたい預け主の立去るを見て惡口雜言を吐くが如きは嗟歎むべき事である（廿三日の立腹子）▲私は江戸川の女中に玄關先で大に叱まれましたソレは西側ばかりの勘定の心付けに三十錢を差上げたのを斷りがけに家內の後に立つた女中が鑑な表情で三本指を出して女部屋の連中に合圖してお互に嘲笑するのでした私は江戸川の社會的信用のために之を惜みます（夫婦者）▲陽曆の明治三十八年二月十一日の干支は何ですか又陰曆は何月何日に相當しますか（田舍出の青年）▲夜分暫らく英語を教へて下さる方はありませんか家庭の都合上一定時間の夜學に行けぬ者です（櫻井町研究生）▲黃木町一一〇番地瀧川氏方でも個人教授されるさうです（係）

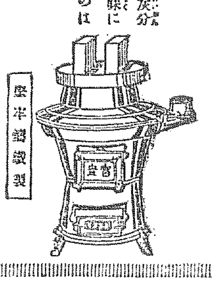
實驗證明



米の成分は　蛋白、脂肪、炭水化物、纖維、燐酸、灰分等之を糊狀化し、ふつくりと、美味に滋養多く合理的に炊上るのは本器の特色なり

攝氏百度は　御飯を炊く必要熱量、僅少の燃料で此の沸點に昇騰し、完全飯炊が出來るのも本器の誇り

特許　富貴竈



堅牢鋼鐵製

東京市淺草區　阿部彥四郎商店　賣捌店　全國到處有名金物店

最新刊

千葉胤明　明治天皇御製集　二、四〇
教育獎勵會　教育五十年史　二、五〇
波多野乕太郎　大戰後の世界　二、〇〇
伊知地純正　米國再遊記　一、七〇
佐藤友四郎　愛蘭文學研究　二、八〇
アナーキスト列傳　三、〇〇
金子白夢　建築師ソルネス　一、五〇
友松圓諦　地に描める釋迦　一、七〇
永島直昭　夢幻劇ルーテル　一、四〇

京城　振替京城二五七三　大阪屋號　本局電話六八四、二〇八六

流經薬レスタリン　月經　閉止四五ヶ月以內に確實に流經作用を用ひて容易く其の目的を遂し得らる優秀なる効力を有せり　價一瓶貳圓五拾錢　送料五拾錢郵税切手代用　三錢切手同封說明書呈　大阪北區曾根崎上二丁目三六番地　常盤藥院

母の最大幸福

卓越せる技術による純良なる品質滋養價値の豊富使用法の輕便然も價格の低廉なる森永ドライミルクは母乳代用品として完全無缺です、そこで母乳なき母は貴き小兒の生命を安心して森永ドライミルクに託して小兒の完全なる成育を計ることの出來るのは母の最大幸福です、

適量の糖分を含む　粉末牛乳

森永ドライミルク

小罐（正味牛乳一升二合分）

森永製菓株式會社

75—11

創立二十週年

大日本國民中學會

燈火親しむ可きの秋は來れり前途有爲の青年は本會中學講義錄に依りて立身成功の基礎を造れ

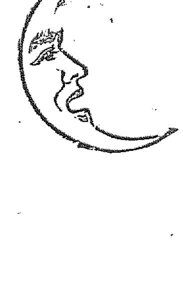
◎第卅八回新學期開講　廿週年記念大特典提供　入會の好機は今也◎見本無代進呈

東京神田駿河臺　大日本國民中學會

りん病は淋消さ　急性も慢性も只一劑で奇妙にヨクナル他に類なき專門良藥あり切手三錢送れ秘密に敎ゆ　名古屋市中區流川町　小栗作造

內科　胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話（一三二九・一五九〇番）

外科・內科　皮膚花柳病科　エッキス光線及電氣科　院（普通及隔離室）　京城府旭町一丁目四　島崎病院　院長　島崎龍一　電話　病院本局三二九・院長本局二六九三番



吾れに良品を與へよ　而して價を廉にせよ

得る所多くして失ふ所少かれとは古今東西を通じて渝らぬ人間の欲求であります

品質本位　花王石鹸　は夙に之を尊重して需要者各位の為に廉價なる良品を提供し滿天下の御愛用を俟つ！

最良の品質！　極度の廉價！

花王石鹸　發賣元　東京馬喰町　長瀨商會　朝鮮總代理店　大阪安土町　大﨑組

自分の進退は監督官廳に一任

美濃部鮮銀總裁の談

【東京支局至急特電】二十五日都下十二新聞紙上に美濃部鮮銀總裁辭職の説を報ずるものあり此報を齎して美濃部總裁を訪へば總裁は意外の面持にて語る「私一個の進退に就ては勿論監督官廳に一切を任してあつて何も私から申すべき筋合ではないが併し私が監督官廳に辭意を申出でたのはズッと早く此度の總會前のことで其の時は在職して折角整理に努力せよとの事であつて其積りでやつてゐるのである整理の方も着々進行中で既に人事の方は一段落を告げ此上は職制に多少の變更を加へ人心を新たにして能率を上ぐるの道を講じやうと思つてゐるそれが一段落を告げた上で來月邊り臨時總會を開き報告したいと思ふ斯様な次第で別に其の後更めて私から辭職願を出した事はない」

購買力減退傾向

大村商議書記長談

財界は依然沈衰状態にあるが金融の不圓滑な實情は最近不渡手形頻發の爲め銀行から取引停止處分を受ける者が續出する事で歳末接近と共に近頃の續發者中には多少繼續者を出すかも知れぬが是は

自然の整理

に任せる外はあるまい、會議所では不況時に處する商紳の經費節約に關し屢々警告を發して各自の警醒を促したが何分好況時代に於て極度に膨脹した經費を縮少する事は種々なる困難が伴ふので自然一時的の彌縫手段を講ずる事となるから何時か一度は破綻を招く事となる、斯う云ふ悲慘な事態を來るのは寧ろ喜ぶべき事では無いが總を執るのは喜ぶべき事では無いが、不況も今年がドン底であるとの意見もあるが自分の觀測では來年一杯不景氣が續く、即ち來年が不況の底であつて

十三年頃から

景氣は徐々に恢復すると思ふ、併し最近節約貯蓄の效果で智識階級の購買力が漸次減退して來たやうだが智識階級の覺醒は財界恢復の第一歩を印した譯で喜ぶべき事だ、云ふ迄も無く購買力は下層階級より中流以上に多いから先づ第一に智識階級の覺醒を促すのが急務である、ソコデ節約觀念が普及されるに伴れ貯蓄觀念が旺くなつて來る、この機に乘じて貯蓄奬勵を行ふのは好い事だ、今度の郵便貯金デーなども京城で五萬圓の成績を得たのは確に成功と云つてよい、銀行などでも種々な方法で

預金吸集を

行つてゐるが併し是も適宜に適した方法である、併し銀行業者が若し是等の資金を不健全な方面に使用する事がありとすれば延いては當局の取締もあり恐らくそんな事はあるまい、一般から吸集した資金は朝鮮開發の爲めに健實な商工業方面に放資して貰ひたいものだ

京城在庫品減退

京城商業會議所の調査に係る京城市内の倉庫、龍山倉庫の各倉庫の九月末現在在庫品は個數四萬三千七百八十八個、價額總額百二十五萬六千九百三十一圓にして前月末に比し個數に於て千二百二十二個、價額に於て五萬三千二百二十五圓の減退を示せるが詳細左の如し

九月末	個數	價額
玄米	一、〇二五	一九、五四五
白米	一一三	二、六七八
糯米	二、七一二	四二、六四八
籾	八六五	八、六五〇
麥	三、七五七	三三、四七二
大豆	八八	二、二一九
小豆	七五六	四、八九四
麥粉	九、三三九	一三三、一〇〇
粟	五、六六九	四八、三八六
雜穀	四、〇五七	四三、三三五
和酒	五	二八八
食料品	二五	二、一三〇
洋酒	九	二、一八
絹織物	六二	六〇、六七五
綿織物	一、三五五	四三五、四七五
麻織物	一〇六	二〇、五七五
毛織物	八五	一〇六、二七九
洋紙	一五五	一七、二五〇
和紙	一五七	一四、〇七〇

金屬製品	二四一	一三、六五六
煙草	四、〇七八	二二、七四五
砂糖	二四〇	五、七八〇
藥品染料	八五	三、七〇七
海產物	六〇	二、三五三
鑛石類	九	六六二
雜品	六、八〇二	八八、四八六
計	四三、七八八	一、二五六、九三一

支拂統一延期か

京城商業會議所では京城各商店の支拂取引に就て調査中の處、支拂期日が一定せず或は月末或ひは五日十五、二十五と頗る區々として商取引上に支障ありとし此際一般商業界から支拂日統一の議起り商業會議所に於て各方面の諸問題を兼ね調査の結果大體十一月一日より實施する筈であつたが財界不況で市中一般に不景氣を續けて居るので去る二十五日役員會の商工聯合組合會にて尚早論も出で更に幾分研究調査した上で決定する事となつたが或は二三月延期するに至るやも知れずと

鐵物界の近況

鐵物需要期に對する一般當業者の觀測は區々であるが强氣筋は總て市價が殆ど低値に入つてゐるから値頃より見ても相當需要起り市價は活況を呈するものと云ひ一方軟派は財界萎縮金融硬塞又は物價調節問題の喧しい折柄とて其の需要は材料が擡頭せざる限り到底大した活況を望まれまいと觀測してゐるが最近鐵物相場の丸棒が約二十錢方上向五十錢となり鐵板は三十番は約十錢方上伸し亞鉛鐵板は總じて引締り八番線二十錢方昂騰し鐵力板は著しく内外商業の善境から本問市價と値鞘接近して總體的に好轉してゐる然して目先は需要期に入れることとて本月及來月は現状を維持すべく前の需要期を經過するとしても昨年の如き慘落後の慘落の如き事はなく緩漫なる步調を辿るだらうと當業者は觀測して居つた、

横濱生絲相場

總督府入電に依れば横濱生絲相場は左の如し

二十四日人氣一般警戒の氣味各館共注文待ちの姿信州、武州格二一七〇圓

朝鮮皮革總會

朝鮮皮革會社にては來月中旬株主總會を開催すべきが財界不況並に軍靴縮小等にて相當成績不良なるも去る三月全部拂込みを徴したる爲め八朱配當は困難ならんと

大阪財界近信

紡績操短要望拒絶の裏面

紡績聯合會では十九日の臨時總會席上に於て小紡績二十七社の要望に係る三品取引停止及び操短要求を審議したるが當日は武藤氏が大日本紡績聯合委員長として會議に臨まざるべからざる止むを得ざる事情のあつた爲め意見を取纏める事が出來なかつたので改めて二十日午後五時から非公式の委員會を開催する事となつた、而も當日は武藤氏が前日の大日本實業組合聯合會の決議たる營業税撤廢決議を携へて上京し當局に之れを提出する必要があり上京の上は當分歸阪しない事が判つて居つた爲め殘存委員を糾合し臨時に會合したので

武藤氏の意見

を聽取して聞く事が其の主眼な目的であつたのである、何んとなれば武藤氏の意見は大體に於て社會は鐘紡が七個の配當をして居るのを暴利として攻撃して居る際に物價の引下を官民擧つて行つてる場合に綿絲價の釣上げを招來する操短を決行せんとする要求に關ふ事は社會の非難を愈々高からしむるもので賛成する事は出來ないとは操短問題が漸く注意を惹くに至つた當地から既に漏らした處であつたからである。會合の結果は武藤氏の以上の意見を認めとして大多數は未だ操短を斷行すべき時期でないと云ふ事であつたが此の非公式の委員會は名に於て非公式であり有志委員の會合であつたが實質に於ては正式の委員會と何等異なる所なく十社の中八名が參會したのである、其處で

操短反對を決議

として二十二日午後二時から聯合會事務所に小會社側委員三名を招致して報告する所があつた、然らば何故に委員會社は反對したか重要理由を擧げると左の事情が明かになる、

一、大會社と雖も小紡績の要望を無理と思はず同情も持つて居るが最近迄高値をなし來つたものが短時日の不況に依つて操短を斷行する事は世間の評價を得られぬ事

二、物價引下の喧傳さるゝ際綿價釣上を結果する操短實施は更に攻撃の口實を與へると共に火の手を大ならしむる事の必然なる事

三、大會社は小會社の如く未だ窮状に陷つて居らない事

四、僅に一度の要望によつて操短を斷行するは社會を無視したとの非難を迴避する能はざると共に徒りに腹を見透されるの嫌あること

五、再三再四の小會社の切望に止むを得ず操短を決行したと思はれるやうな形式をとる事

六、故に再三再四小紡績の切望を内心感謝しの意志である事

即ち大紡績は時機を見て小紡績を殺しには出現ないといふ口實の下に綿局操短を實現せんと虎視眈々で操短は時に其の第一歩に入つたものである、小會社も亦一度拒絶されたからとて此の儘手を拱いて居る筈は勿論ない、時機と形式とが揃へば操短は實現される、但綿價が何等か非常の理由で騰貴すれば例外である

株式 （廿五日）

現株中値出來値

銘柄	前場	後場
京取八寄	…	…
仁取八寄	三五・〇〇	三五・〇〇
同新八寄	四八・〇〇	四八・〇〇
朝銀八寄	八一・〇〇	八一・〇〇
同新八寄	一九・五〇	一九・八〇
同新八寄	二一・五〇	二一・八〇
殖銀八寄	四八・五〇	四八・五〇
同新八寄	二一・七〇	二一・七〇
朝銀八寄	四〇・〇〇	四〇・〇〇
同新八寄	三五・八〇	三五・八〇
殖銀八寄	三九・三〇	三九・三〇
同新八寄	九・三〇	九・三〇
朝銀八寄	四四・五〇	四四・五〇
東拓八寄	四六・〇〇	四六・〇〇
同新八寄	三三・五〇	三三・五〇
朝土八寄	三六・四〇	三六・四〇
朝紡八寄	九・五〇	九・五〇
朝毛八寄	七・〇〇	七・〇〇
京電八寄	四八・〇〇	四八・〇〇
電興八寄	…	…
金剛八寄	三一・六〇	三一・六〇
朝郵八寄	三三・〇〇	三三・〇〇
朝鐵八寄	六・一〇	六・一〇
中鐵八寄	三三・〇〇	三三・〇〇
同新八寄	八・〇〇	八・〇〇
滿鐵八寄	一四一・〇〇	一四一・〇〇
同新八寄	三四・〇〇	三四・〇〇
同新八寄	三一・一〇	三一・一〇
京信八寄	四一・五〇	四一・五〇
現信八寄	三一・二〇	三一・一〇
殖信八寄	…	…

乙の部

銘柄	寄付	大引	前場	後場
京取 前	五五・〇〇	五五・八〇		
京取 後	五五・〇〇	五五・〇〇		
仁取 前	…	…		
同新 前	四八・二〇	四八・一〇		
同新 後	四八・一〇	四八・一〇		
大新 前	八六・八〇	八六・〇〇		
大新 後	八六・〇〇	八六・〇〇		
朝紡 後	…	…		
中鐵 後	…	…		
拓新 後	…	…		
安取 前	一九・七〇	二〇・〇〇		
安取 後	一九・八〇	二〇・〇〇		

大阪株式

銘柄	二十五日前場寄付	二十五日後場大引
大株	一〇八、六〇	一〇七、六〇
同新	八九、九〇	八九、三〇
鐘紡	八六、三〇	八六、三〇
同新	…	二九、八〇
商船	四二、六〇	四二、六〇
同新	一一、一〇〇	一一、一〇〇
鐘紡	三〇、二〇〇	三〇、一〇〇
同新	二八二、八〇	二八三、二〇〇
東紡	二一〇、八〇	二一〇、八〇
銘柄	前場大引	後場寄付
大株	二〇八、二〇	一〇七、九〇
同新	八九、六〇	…

大阪延取引

銘柄	二十五日前場寄付	大引
東新	…	八五、五〇
同新	四二、六〇	四二、五〇
商船	一一、二〇	一〇、九〇
鐘紡	三〇一、二〇	三〇〇、〇〇
同新	二八二、六〇	二八一、九〇
東紡	一一一、九〇	一一一、〇〇
銘柄	二十五日後場寄付	大引
大新	八八、九〇	八九、三〇
鐘新	二八〇、〇〇	二八二、二〇
天坂	…	…

安東株式

	寄付	大引
二十四日後場 安當	一六、八〇	…
安取先	…	…
二十五日前場 安取先	…	…

前場昂騰

京取新高値に進む

昨後場主力株たる京取が短期に五十一圓六十錢と一本に付けたぎりて結局の閑散不氣乘に打止めた氣先今朝は大阪大新が八十八圓九十錢の續騰を入れて入氣勢り從來の買上長は一轉して買上長となり諸株一齊に昂騰し久方振りに活氣を呈し氣丈に大引した相場は三十錢高安取も三十錢高大新ざる振合のある丈穩健なる商状であつた即ち短期の京取は九十錢高仁取新は今週十錢高週間物は氣乘薄きも京一圓七十錢共に高く其他は手合出來せり、も稍小締りの氣配であつた

歩み ▲京取短期五二、〇〇 一〇、二〇、三〇、四〇 五〇（大引）▲大新短期八八、六〇、八〇、九〇、八〇、七〇 八〇、九〇、一〇〇、（大引）

手振 ▲京取短期賣方、新田、關、犬島、有田、買方、方峯、田中、橋下、中村、方峯、買方、金秀、槙、有田、池田、中津留、川崎、洪般、金秀、塚野、賣方、金秀、池田、坂田、南、井口 ▲大新短期買方、新田、中津留、北村、洪般、塚野、買方、中津留、北村、白井、田中、櫻谷、中村、▲現信買方、中津留、北村、田中、▲現信買方關、洪般、買方中津留

後場盆槍

前場品騰の氣先後場は大阪のホンヤリを入れて人氣引立たず一部の賣り物目立ちて京取は下押し延いて其他も多少の下押しを見せ閑散裡に歩調の場合とて此の呼吸的の下押しは當然と見られ目前此邊小往來の商状に見受けた即ち短期の京取は四十錢安仁取新は保合、安取は廿錢安大新は四十錢安週間物も依然氣乘らず鮮銀新十九圓八十錢の一本丸信は今週十錢高其他は閑内出來せず見送りに引けた

手振 ▲京取、賣方、塚野、櫻下、白築、賣方、櫻谷、坂田、金剛、白井、▲大取新短期、賣方、塚野、山中、買方、櫻谷、坂田、新田、▲大新安取短期賣方新田、買方田中、北村、方峯、▲大新短期賣方中津留、▲鮮銀新賣方塚野、買方、川崎、丸信賣方、田中、買方、北村、

短期算定日步

算定 ▲京取五十二圓▲仁取百二十七圓▲同新四十八圓▲朝紡九十錢▲安取二十圓▲大新八十九圓

日步 京取二十錢▲仁取五十錢▲仁新二十五錢▲朝紡五錢▲大新六十五錢（逆）

出來高（二十五日）▲甲部三百七十枚累計二千二萬八千四百四十枚▲乙部出來不申累計二萬六百二十三枚▲短期三千四百八十枚累計六十一萬七千七百十枚

京取短期喰合

京取短期の喰合は二十五日前場現在にて八千三百六十となり過剩五百九十にて本日歩に復したが其内譯左の

京取新高値

京取株は今朝大阪の續騰の商状であつた京取株頭より堅調に突進し昨引値より九十錢方の昂騰を示し五十二圓五十錢と手堅く打止めた京取としては過般大阪の不勢に添はず品騰した事があるのであるから今回の大新高に對しては伸び惱みの商状に見へるが最安値よりは十圓方の引返して居り十圓方引返し大體も亦最安値より十圓方引返して居る於て大阪に順應して進み來れるものであるから歩調は極めて堅實と見られ多少賣り押への模樣があるとしても夫れ程賣り物に威力がある譯ではなく賴りに賣物潜在を傳へられた中村も今前場に於ては漸く二百四十枚の賣りに過ぎないから之れとて左程の威力あるものではなくクリートの様に固められた内に恰もコンクリートの樣に固められた上に四圍の事情が良化と迄は行かずとも睨り顏して來て居るから今後呼吸的に一進一退を續け其裡にヂリ高歩調を辿りそれ相場も案外壽命が長からうと觀測された

保合分岐平

京取株は買氣が萎縮して居るに反して賣氣が尙旺んであつた爲に上放れを告げ難かつたが今朝は大阪大新の續騰を入れて五十二圓五十錢と打止め相場の保合は確實に上放れを告げた樣である、若しも今朝の相場が下寄りするか又は高寄してもグズ〳〵とダレたならば保合は上放れたものとは見る事が出來ずして例の小市往來を繰り返して致し方なしとの嘆聲を發せしむるのであるが、高寄りをして跡ダレずヂリ〳〵高く新高値に進み向かに進むにしても京取ばかりでなく他の株式も高値に進む筈保合は確實に上放れたもの

𛂦 布井仲買店

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町　電話五三六番

大新氣丈

相場の根底が長期の保合の裡に鐵棒せられ一寸した弱材料では崩れぬ迄に固められ前かも周圍の事情が良化とも遂は行かずとも賣方に味方しない迄には睨りを呈して來て大阪は遂日好勢を續け當市場も今期一圓七十錢高を演じて大阪高に追隨して居る元來大阪に於ける大新は過般の最安値七十八圓十錢より今期の拂込十二圓となり大正九年の最安値六十五圓十錢を差引く時は大正九年の最安値六十五圓五十錢を差引く時は六十五圓と略額を合せたものであり且つ財界の事情は大正九年の樣々不況に陷らんとする悲況にありしに反し今日は良化とは行かずとも人心は極めて冷き幾多の事情を生じ人心は極めて冷前に其恢復を待ちつゝある情態なれば過般の最安値は既に底を打つたものと見るが至當であるから相場が其後一進一退の裡に戻つて來たのは財界の大勢の然らしむる所で極めて順當なる戻りであるから此際押すとしても大した事なくヂリ〳〵堅しで行くだらうと觀測する向もあつた

賣買差引錢

	賣方	買方
力	一一〇〇	二〇〇
寄	六〇〇〇	三〇〇〇
㊉	一〇〇〇〇	一四〇〇〇
	一〇〇〇	四三〇〇〇

手數料値上未定

仲買が多年の懸案とせる手數料の値上問題に付ては今に總督府に申請中で來る十一月一日より實施されるかの樣に傳へ居るが之れは何かの誤傳にして取引所としては未だ申請の運びに到らず近く重役會の決定を經て正式の申請をなす模樣なれば該件は總督府の諒解を得るにしても未だ相當の日數を要するであらう

小林仲買店

最高陸深き天災期來る
神算妙用の時は今なり
最近海陸本安引を秀書
御申越次第進呈
仁川本町三ノ四
小林仲買店

仁川期米

米況 （廿五日）

前場不動閑散

昨後場阪地の急騰に安値掴みの前物を踏んで二十圓九十一錢と安値から百丁近くの反撥を演じ八十八錢と手堅く打止めた折柄で今朝は阪地高附の廿五丁高入れて當出來ず中二十圓丁度と反撥し先限は二十一圓の鞘に始まり買方の手詰め急きに結局二十圓九十錢と寄付た

▲第二節 大阪二節六十九錢の小甘さ移りに當中出來ざるも先八十錢に始め七十七錢と下押せしも押目待ちの買ひに八十錢と締りて引

▲第三節 當中出來ず先八十錢より二錢と締りしも大阪跡六十一錢の安移りに七十三錢と押し七錢と持合ひに引

▲第四節 當中出來ず先七十五錢より八十三錢と押目待買ひに締り八十錢と手堅く引

▲第五節 當中出來ず先七十八錢より八十錢と持合ひに大引した

興味ある中限

先限は新米の出盛期に納會を告げる關係と値の關係が安い丈に之れと云ふ腰の入つた仕手はなく只目先筋の阪地の高下に依つて僅かに五十丁百丁の動きを弄いするに過ぎない傾だ仲買が然し中限は既組んで居る玉を合算すると未だ二萬以上に達する丈の合格品が集るか否や疑問視される程で買方として目下の正米事情から推して數一ケ月の間に斯かる大量の合格品が集るか否や疑問視されて居る殊に古米が出廻つても値段が合はぬ賣り方の顏は頭痛の種となりつゝあるが今後の動きは注目されて居る

鞘縮少は何れか

昨後場から今朝にかけ阪地が値か七八十丁しか反撥しないにも拘はらず當市場が百丁以上も急騰したのは昨日再び二十圓臺を割つたといふので値段覺悟いた其の反動を喚んだのに過ぎないが然し愈々政府が第一回の米の買上げを本年中に實施する事に決定したとすると賣方の理想とせる年末の出盛期に正米が捲けるか否やは疑問であるのみならず假令又た農家が政府の買上げに應じなくとも商人に決しられるであらう

（一部の）米の出廻りが増加して來れば當然買方の方から前非を海いて投げ出して來るの確信から飽迄賣玉を頑張らんとする模樣であるが何れにせよ鞘許正米の如何に依つて中限の離鞘が

	寄付	止値	高値	安値	一節	二節	三節	四節	五節	六節
二十五日前場	二〇、九〇	二〇、七九	二〇、九〇	二〇、七三	二〇、九〇	二〇、七九	二〇、七八	二〇、七八	二〇、七八	二〇、七九
二十五日後場	二一、〇八	二一、一〇	二一、一〇	二〇、七七	二〇、八〇	二一、〇二	二〇、八七	二〇、八七	二一、〇八	二一、〇八

○前場公定値　○後場公定値

	前場	後場
發	九〇〇	八〇〇
豐	三三〇〇	一〇〇〇
止	五〇〇	一〇〇〇
九大	七〇〇	七〇〇

取組高 當限 二千三百石　中限 一萬千七百石　先限 二萬千三百石
出來高 十二萬六千六百石
累計 二六八一八〇〇石

後場一圓臺

▲寄付 ▲第一節 當中出來ず先二十圓八十錢
▲第二節 當中出來ず先二十圓九十錢
▲第三節 當出來ず中二十三錢より九十錢引
▲第四節 當中出來ず先二十圓九十錢と跳ね上げ〇四錢引
▲第五節 當中出來ず先一圓〇四錢より更に十錢と持上げ〇八錢と手堅く引

米界餘聞

阪地の氣が騰せる石井關係の米も未だ撒けて了ふ迄では寧ろ不可能だと云ふ位で居る古米だけの出盛期を見かける古米が頭痛の種となり八十萬石以上の上が近年にない現象で相場の上足腰が立たぬと見るのも當然である▲思に角今後一般の人氣が其あらう、▲其の是非は別物として阪地で石井の古米が凭れて居れば阪地の相場も凭れ伸び惱みにこそ各地の相場も阪地の仲ノ其の是非は別物として出された正米より割安を叩いて居るから此邊賣りも多少留意して置く必要がある▲殊に當市場の如きは古米の壓迫などの恐れは來るかも知れないと云ふ相場に過ぎないので若し農家が大正九年の出來秋當時と等しく賣惜むとなると古米の壓迫は恐れは

京城穀物

正米現物

上品ガスレに氣配を支持し來りし地場正米も昨今新穀相當の入荷ありて來々商談起り殘與都上物は六錢八厘處の賣唱へなるも買人は六錢見當を呼びて兩者の値開き大なる爲め取引殆ど閑まらず今朝は鮮白の安人氣と相俟ち正米も五六十錢の安唱へとなり地撂新玄米は二十三圓七八十錢三等合格二十五圓七十錢見當にて古米は合格上物二十五圓揃みなるも出殼の漸增と白米賣行きの不振に當用小口外更に商談行はれず眼先一般の安見込みなり

延

正米現物との採算上大下鞘を叩けるのみならず期米の反撥悪も潜み居れる折柄にて安値は突込み賣を警戒しつゝありと雖も戻りには買物絶へず方々玆相場は上下何れにも動き兼ね今朝は別項步みの如く小市持合にて市況振はず閑散

釜山正米

前場十一月末限二一四〇十二月中一八〇 一九〇
後場二一四〇 十一月末限一九〇
限二一〇六 一〇六 三五 三七〇 一三〇
九 二〇 一五 一七 一一

内地期米は持ち移りなるが玆許新米出廻り高ち買ひ入氣次第に軟弱の傾きにて今朝は殷良都二十圓五十錢の新米二十六圓八十錢神力二十三圓九十錢同新二十六圓三十錢にて三千三百個の商内かあつた

大邱正米

延 十一月末限二十一圓十五錢より十錢十二月中限二十一圓十錢より二十圓九十五錢

大豆 も又た新物の出廻りに人氣一十四圓三十錢にて四百個の取引出來たるが内地の安模樣に大體見送りの風情である（二十五日）

群山正米

十一月末限二十圓十五錢より十錢十二月中限二十圓六十錢より四十錢（二十五日）

東京正米小戻

東京二十錢方の引戻しを報じた今朝は大阪正米變らざる移りなるが

（二十五日）

運照り現物二十一圓五十錢十一月中限二十一圓〇五錢同末限二十一圓〇八錢出來高一萬千四百石

東京期米

	廿五日前場先限	廿五日後場
先寄	二五、七〇	二五、四七
二節	二〇	四二
三節	六〇	五〇
四節	五〇	六〇
五節	五五	…
六節	…	…

大阪期米

	廿五日前場	二十五日後場
寄付	二三、七〇	二三、六〇
止め	二三、八九	二三、八四
中寄	二三、七七	二三、六四
先寄	二三、六三	二三、八九
二節	七九	六一
三節	六九	六一
四節	六四	六五
五節	六一	七九
六節	六〇	七〇
七節	六〇	七九
八節	五八	八〇
九節	五五	…
十節	五六	…

兵庫期米

（前場・後場）

下關期米

	二十五日前場	二十五日後場
寄付	二三、四四	二三、一九
止め	二三、一六	…

各地期米

	二十五日前場	二十三日後場
	寄付	寄付
常限	…	…
中限	…	…
先限	三、六九 三、七 三、三	…

大阪三品

二十四日後場止め		
東京 二三、六〇	大阪 二三、五四	
兵庫 二三、四七	下關 二三、九七	
桑名 二一、六六	名古屋 二三、二六	
熊本 二三、三四	金澤 二三、五五	

二十錢高

米棉一圓

倫敦棉業相場三十三片十六分の三

	二十五日前場寄付	前場大引
十月限	三三、五〇	三三、〇〇
十一月限	三三、〇〇	三三、八〇
十二月限	三三、〇〇	三三、〇〇
一月限	三三、〇〇	三三、〇〇
二月限	三三、〇〇	三三、〇〇
三月限	三三、〇〇	三三、〇〇
二十五日後場		
十月限	三三、六〇	…
十一月限	三三、七〇	…
十二月限	…	…
一月限	三三、四〇	…
二月限	三三、四〇	…
三月限	三三、四〇	…

梨本宮家を始め貴顯の御愛購を賜り一般御家庭の常備品として健康と家庭平和の表徵なるは本靈器唯一つ

エッチカーレントデアテルミー

百萬言の自贊より事實の大雄辯を

眞の健康幸福の鍵は本器愛用者の特權

コレラ病流行病諸病一切

の根源は胃腸衰弱から起ると云つてよいので今日帝都全體を包圍して居る恐怖を與へて居るコレラ病は流行病中の最も戰慄すべきものであるが夫でも本器を愛用して體能に依て築き上げた大自然の近代的胃腸消化器の所有者に對しては齒が立たぬのは學者諸先生は勿論一般紳士貴顯者の異口同音に立證して居る程他の治療器などの絶對摸倣を許さゞる世界唯一の胃腸强健の靈器であります

根本的體格改造の偉效は

本器を措いて他に求むる事能はざるものにして彼のカンフル注射的一時の姑息的治療に依つて得らるるものでは無く本器を使用して眞に健康者となり不健康者も正に治療せざる病弱者をして眞に治療せされる比ではありませぬ

構造の堅固と永久の保證

は本器の大特色にして愛用者諸賢も安心して購入使用し得るもので倖々旬日の診斷に依りて數十金を要する醫藥治療に比較して不幸なる諸病者に取りて此の上なき救濟なる事を思ふものであります

睡眠状態の補温透熱妙味

は本器以外他治療器は勿論現代醫學の到底企て及ばざる處にして睡眠中に於て生理上必要なる體溫を補ひ全筋肉に知らぬ間に運動刺戟を與へるエッチカーレントを透導する學術上世界稀有の大發明たるは本器の世界的誇りであります

博士の冒險的實驗

ザンデル博士が巴里の大學に於て夢も竝べ〓る死刑囚に就て實驗した強健なる體格の所有者は醫へコレラ菌を飲下するも其の病毒に侵されざる大驗を遂げたる實驗例は一二回の本器使用に依りて難病苦惱を平癒せしめた例は枚擧に遑なく大小冊子説明書ハガキで申込み次第無代進呈致します

政府が眞價を保證する七個の特許權

專賣特許第三八四七三號	十年	四月下附
專賣特許第四二九〇九號	十一年	六月下附
新案特許第六五二五七號	十一年	六月下附
英、佛、墺、加奈太政府	專賣特許下附	

定價一個十八圓　荷造送料 内地五十錢 海外七十五錢

發賣元　東京市本郷區大動町一ノ六六　日本電解工業所
電話特長三八四五・六二八〇九　振替東京三八四〇六

朝鮮信託

◎營業科目
信託　金錢信託・有價證券信託預り・不動産ノ信託預り
代理貸付・擔保付債券
其他一般信託業
●營業案内進呈

株式會社
京城明治町 電話一五九九番
仁川本町 電話一三二番

小兒科專門

診察 午前九時より正午迄

京城壽町四十一番地
河野小兒科
電話本局二〇一一番

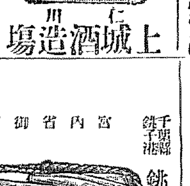
メリヤスシャツ

勿論二枚一組タッタ二圓

東京市日本橋區本石町一丁目毛織物問屋隅谷商店にて今回有名なる分品を引受けた結果破天荒の投賣

メリヤスシャツ二枚組	二圓也
極上等毛ラクダ二枚組	二圓七十錢
同上等白色二枚組	二圓九十錢
極上等クリーム二枚組	四圓五十錢
本毛オーバーシャツ特製	五圓五十錢

以上各品共生地や裁縫の堅實なる稀有の良品
賣切れ迄に御申込を乞ふ時は大至急代金引換又は前金にて御申越を



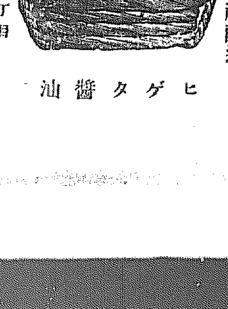
上城酒造場

仁川

男女 毛深き方へ

ヒゲむな毛ウデ毛すね毛にて御困りの方は三錢切手封入御申越あれば永久にウス毛となる毛止藥を御通知致します
東京府淀橋町柏木八四　池田花子

宮内省御用達



ヒゲタ醤油

千葉縣銚子港　銚子醤油株式會社釀造

代理店
京城明治町二丁目
山邑酒造株式會社京城支店
電話長八四九番　振替貯金口座京城七五四番

▲飯島默宣講演會 鮮内各地にて通俗佛教講演會を開き好評を博せる飯島默宣氏は通俗で[illegible]

▲中村分會長披露宴 京城第五分會長馬場氏死亡に就き今般明治町中村醫師分會長に推選され[illegible]

十月廿七日 ▲金曜日 ▲戊辰 ▲五黄 ▲暗剣無し ▲佛滅 ▲鬼宿 ▲破

發行所 京城太平通 合資會社京城日報社 印刷人 [illegible] 電話長六千九番

懸賞當選小說

潮鳴る半島 (73)

馬場明作　鶴田吾郎畫

現代座(二)

「鶴起さん、ともかく、こちらへお出で下さい。とくと御相談が申したいのです」

山本老人は、鶴起になつて、支配人の鶴起を、自分の居室に引つ張つて行つた。

「社長は、どんな容子です」

鶴起は、その方に氣をつかつてゐるやうに山本老人に跟いて行きながら訊いた。

「まあ社長のことは、あとから申します……全く、こんなことを社會に知へられたら、城山家を預かつてゐるわたしが、腹を切らにやならん」

と、山本老人は、腰を屈めて歩きく、口を尖らせてゐる。

大きいデスクが一つあつた。その上に、書類から、新聞紙から、新聞などが乘つてゐた。そのデスクの前へ、山本老人はひよつくりと座ると手に持つてゐた老眼鏡を、眼玉をくしあくさせながら嘗てがつた。

「まあ、これを讀んでみて、わたしは、たまげましたよ、ね、『……一昨年の秋、新火の殺利を出た同家の寵嬢子隣一君を媚つた令嬢の朗子は同家に寄食してゐた元文藝協會の同人富井春男氏と戀に陷り、同家所有の現株五十萬圓を盗み出して、春男氏と手に手を取り上京し、直にそれを金に代へて、甘い戀に醉ひながらホーネームーンの夢も濃かであつた。その後かねての計畫の劇團組織に盡力し、昨年、現代劇協會俳優學校を牛込區富久町に創立して、俳優を養成してゐたが、その第一期生が、今回いよいよ現代座附となつて、その披露劇を、上野松竹館で開いた。なにしろ、五十萬圓の金を費ひ演にすると云ふのだから、その華々しさも想像できる。いつも紛擾の絶えない未來座は、こゝに一大敵國を得たわけだ……』鶴起さん、これあ、どうしたものでせうな？」

「さあ……」

と鶴起も、すぐには答へも浮ばないらしい。

「その五十萬圓と云ふのは、ほんたうですか？そんなには持ち出されなかつたのでせう？」

鶴起はかう訊いた。

「いや、これは嘘です。この十分の一ぐらゐです」

「さうでせうね……」

「わたしは、どうしても、取消を出さうと思ひますよ」

「取消を出したつて、やつぱり同じですよ。そのために信用は決して回復しませんからね」

「さうでせうかな……けれど、鶴起さん、これなりで、默つてゐるわけにはいけません、なんとか、信用回復の道を講じなければね」

「默つてゐる新聞は、こばはかりですか？」

「いや、大ていのは默つてゐます。大同小異ですかな」

「それでは、まあ揃つて働くより外ありませんね、取消文は、一頁に[illegible]するやうなものですからね」

「はあ……」

山本老人は當惑してゐたが、

「どうでせうね、社長にこんなことを、聽かせませんね」

と、鶴起に訊いた。

「それは憂いに違ひありませんが、社長の關係の原因は、元來、朗子さんの行方不明からですからね——當つて、お話して置いた方がいゝかもしれませんよ、親つてものは、子供がどんなことをしても、生きてさへゐられれば安心のできるものですからね……」

染物 洗張 師 清水堂 京城府漢江通三電話七五四番

京日文壇 (投稿歡迎)

短歌題『秋』尾上柴舟選
俳句題『芋』本社編輯局選
川柳題『提灯』劍花坊選
締切 十月廿五日(各題共)
賞金 天一圓、地一圓、人半圓
注意 一題一人五句、各題別紙に用紙選者、雅號住所氏名明記 京城日報社『京日文苑』宛
其他 各地會報歡迎

短歌　尾上柴舟選

課題『朝』

◇ 草世木瑯子(京城)

まどひなきみ聲静く御佾が朝々師す離愁瀨かな

朝たにはよしと喜びタざれば否とかなしむ恒なき心

◇ 高島 郁園(元山)

夏休終りに近きこの朝街路樹の下行けばすがしも

◇ 近江 晩鐘(京城)

この朝空のはてに緑の山見えて我乘る船は港に入れり

病み上り枕もたげてほのかにも明くる朝の白楮見る

凝苦しき短夜なればあくとしもなくてあけつゝ朝とはなりぬ

◇ 櫓爪 紫葉(光州)

葉の透陽背くうつれる朝の土しみじみ見れば蟻の道へる

曇日や土手のしめり地うつむきて歩めば澄める朝心かな

◇ 原野 赤帆(公州)

いづちゆか石切る音の聞えきて雨晴れし朝の山の静けさ

水底の溜かげに靜る魚の鰭時々白く朝日に光る

川柳　井上劍花坊選

題『酒』

○ 龍山 詩山　ほんとうに醉ふては居らぬ膝枕
○ 龍岩浦 芝園坊　溜飲でちびり〱と飲みはじめ
○ 聞島 溜隊　晩の膳酒らしい兒に酌をさせ
○ 金泉 含笑亭　アラムンを酒落で唄ふ額になり
○ 碧溜 櫻泉　禁酒令なぞと妓生は言つて受け
○ 花園町 流東　醉は見たゞけで普通の酒に醉ひ
○ 龍岩浦 鄭鎭郎　年禮の半分酒がものを云ひ 酒のまぬ方が夜櫻見てもどり
○ 泉洞 寂雪　孔雀を脱いでくづさぬ膝で飲み
○ 京城 矢立石　敗戰の床に月桂冠の瓶
　　　　　　　　獨書は酒を飲まぬと書いて無し
　　　　　　　　二次會の銚子に酒の醒い事

俳句　本社編輯局選

題『百舌鳥』

○ 京城 如水　百舌鳥なくや五重の塔の夕西
○ 海南 潮山　寡婦る杉の渠赤し百舌鳥の聲
○ 京城 雅二　柏樹の九太百舌鳥の尾振り鳴く
○ 京城 南江　村と村の水爭ひや百舌鳥啼けり
○ 晶城 十九太郎　眼のいたむ揺宕背し百舌鳥の聲
○ 龍山 臥牛　百舌鳥鳴くや木戸放樂の文士町
○ 木浦 白鷺　柿ちぎる竿に百舌鳥鳴き去る
○ 京城 季雨史　棉を摘む袋のふくれや鵙遠し
○ 京城 容噌　百舌鳥啼くや眼に寒々と朝の雄
○ 京城 文市　百舌鳥鳴くや夕日に光る兒の額
○ 京城 晩鶴　百舌鳥啼くや夕日に光る三角洲
○ 龍山 秋月　百舌鳥啼くや朝の日ざし射す障子
○ 平壤 乃学　百舌鳥飛ぶ栗の枯枝に微風あり
○ 新義州 兒城　蜘蛛掘りと百舌鳥つゝ兒ら田圃道
○ 慶南 双葉　秋柿む杭に鵙鳴く裾野かな
○ 京城 紫水　網干木に百舌鳥鳴くや入江風
○ 龍山 芳所　鵙啼くや庭寂々と西東
○ 京城 秋翠　百舌鳥鳴くやポツクと落る椿の實
○ 京城 破旗　百舌鳥啼くや採石場の響水
○ 金剛山 乾雨　百舌鳥鳴くや橋一木の渡船場
○ 仁川 蕉郷　鵙啼いて銀杏黄いろき夕陽かな
○ 京城 吐風　百舌鳥啼くや陽殘る柿の梢より
○ 大田 佐藤惠　百舌鳥の子の飼馴れず遂に死を悲し

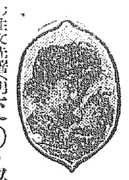
唐辛子　工藤 想仙

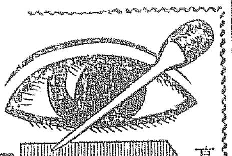
町を出る道や唐辛子どの家も
捨扇に受けて机上かな
野々宮の我れに明けたり朝の月
秋の棚釣り手使ふて灯を引けり
露徑の草附けて來し簑笠人
秋晴れや屋根に南瓜の殘り花
秋の霽旭の射す石にゐたりけり
時む皆に虫鳴き止まぬ花野かな
刈田中の家や屋根葺く人二三
小島圃畑の木立を行き戻り

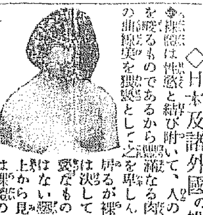
かぜ ねつ を治し 疼痛を解き 鎭める
安全第一のかぜねつ藥
蛇印 アンチピリン丸
主効 ◈かぜ、ねつ◈はしか◈はやりかぜ◈オコリ(マラリヤ熱)◈リウマチス◈頭痛其他熱病一切及熱の爲め疼痛ある諸症に特効あり
定價二十錢より壹圓迄各種
滿七歳以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥 オイン を服用するに限る
一個二十錢、三十錢、五十錢、一圓
◆全國各藥店に取次す
大阪 東京 本舗 丹平商會藥房

君よ
又、三日も通じがありませぬか
溜飲、頭痛も便秘が基
早く
參天堂研究の
健通丸
をお服みなさい！
クセニナラズよく通じます
溜飲、頭痛、逆上、は必ず通じなき人に起る、其他耳鳴、肩の凝、ぢ疾、水腫、等の人は健通丸を用ふれば誠に心地よく治ります
▼通じのなき御婦人は殊にのぼせ易く又婦人科の病氣を重らせますから早速御試用をお奬めします
定價 十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓、各地藥店にあり
健通丸、大學目藥本舗 大阪市北濱 參天堂合資會社

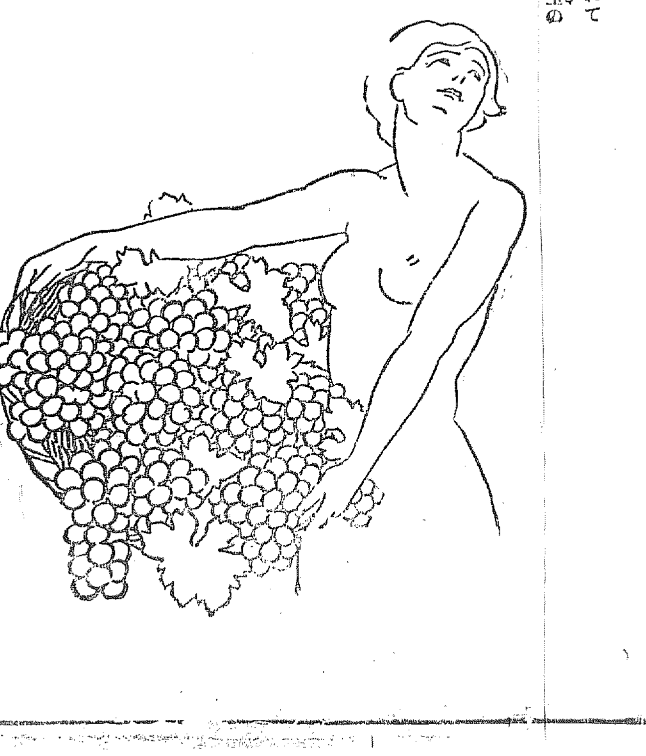
心實に共に日本一
和服美の要
福助足袋

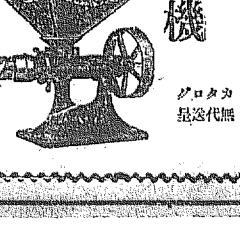
百萬圓より子は寶
△子供を欲しい人もほしくない人も見よ△
△青春精力旺盛の時期に最必讀の事▽
大好評【忽拾版】

子の出來る法 出來ぬ法
男女交〇の秘術 珍本 一册無代
本書の内容は紙上に詳述を憚る故其一部を掲載せり幸に御粹察を乞ふ [illegible]
東京芝區西久保巴町七九 振替口座東京五五六三三 隆文書院


高峰博士發見ノ眼科靈藥 (各藥店ニアリ)
アドラ
アドリナリンを主藥とす
定價 廿錢、卅錢、五拾錢
東京室町 泰昌製藥株式會社

澤田「性」の研究叢書(第四卷)
性學大家澤田順次郎先生著
▲豐滿にして艶麗なる世界に於ける
女の裸體美の新研究
寫眞及挿圖入
◇日本及諸外國の裸體美へ悉く本書に集る

[illegible]
正價 金壹圓五拾錢
東京麻布區宮村町 正文社書院

最も完全に染る
赤毛染 君が代
本品の特色 染法簡便 毛質を害せず 染色自然の黑髮にて永く保つ
全國藥店にあり無くば本舗へ
東京 本舗 山吉商店

赤玉ポートワイン
純朴の味！ 天眞の香！
聖潔の色！
謝す
そは許されて
葡萄酒 赤玉の
高き矜り！


平和紀念東京大博覽會に於て最高賞の金牌を授賞されたる
特許 清水式無砂精米麥機
登録商標 天下唯一
光榮 御大典主基齋田賜御用 畏き邊の忝御嘉納 既に金銀牌十數個受領
外形酷似の有ゆる精米機は清水式の模造にして本機とは精白成績雲泥相違の劣等品なり登錄商標にて御識別を願ふ
陸海軍 鐵道省 東京府 御用達

東京神田五軒町 合資會社 清水商會
電話下谷 特長 三七三四番 六八〇〇番
振替口座東京二〇七〇〇番
カタログ無代進呈

仁川 金波

京城永樂町二丁目 入院隨意
酒井婦人病院
電話一八番 三三〇三番
酒井一郎